

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-43)、MOX施設(1-43))」
2. 日時：令和3年7月7日(水) 13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職
日本原燃(株) 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他16名
北海道電力(株) 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 担当
東京電力ホールディングス(株) サイクル技術グループ
グループマネージャー
中部電力(株) 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長
関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和2年12月24日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 1 2 月 2 4 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 3 年 6 月 2 9 日
「日本原燃 株 再処理施設、MOX 施設、濃縮施設 の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 6 月 3 0 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁の竹ヶ原です。
0:00:04	それではただいまから、日本原燃(株)そのヒアリングを開始いたします。
0:00:10	本日のヒアリングは例は2年12月に申請があつち申請があつた設工認申請に関わる御説明資料の事実確認を行います。
0:00:22	本日、事実確認を行う資料は6月29日及び30日に提出が正しいようになります。
0:00:31	まず規制庁側からの出席者ですが、本庁からはキシノカミデだけが
0:00:39	部からの参加が、ツガネaハバサキになります。
0:00:45	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介と、本日説明する。説明範囲と達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:58	はい。日本原燃の藤井です。ちょっと画面に資料表示されておりましたがまず日本原燃の出席者を紹介させていただきます。
0:01:06	再処理事業部ムラノナガサワ、タカハシフジノ、MOX燃料製造事業部のタカマツタニグチヤマダイシハラそれから耐震関係のメンバーとして、フナコシ、サトウトガシ
0:01:21	ウラバヤシスガワラの上スギタかキョウダイトウ
0:01:28	以上は参加者となります。
0:01:30	本日ですが、耐震建物07番、十一番、12番、それから21番について説明させていただきます。
0:01:40	はい、それでは説明に入らせていただきます。
0:01:45	はい。
0:01:46	はい、日本原燃富樫でございます。まず初めに耐震の07といたしまして水平2方向及び鉛直方向の地震力の組み合わせに関しての資料となっております。こちらのほうの資料といたしましては前回のヒアリングを受けましてコメント事項の修正といったところを主として実施してございます。
0:02:03	最初にちょっとお答えなんですけども、本日の資料全般ではございますけども、前回のヒアリングのときにですねカミデさんの方から御指摘をいただいております資料の位置付けのところの最初の概要が機能つきにつきましては、本日の資料につきましてはこちらのほうを変更を反映できておりません。
0:02:19	こちらのほうにつきましては現在社内調整してございますのでこちらのほうの反映版という形のほうで次回以降提示する資料につきまして反映のほうを実施していきたいというふうに考えてございますのでよろしくお願ひいたしま

	す。また水平 2 方向の部分に關しまして前回あのハバサキさんの方からいただいております。もう
0:02:40	そうですね、三次元のFEMのほうの最適シミュレーションに対してのモデルの応答値のほうのずれが生じているという部分につきましては現在社内で調整してございますのでこちらのほうの資料といたしました措置はございませんのでそれ以外のコメント事項の反映という形になってございます。
0:02:57	またシミュレーションにつきましても現在検討を進めてございますので、そちらの方が見えた段階の方で再度、補足のほうを出させていただきたいというふうに思っておりますのでよろしく願いいたします。人間からは以上でございます。
0:03:13	規制庁の武田です。はい。説明ありがとうございます。それでは耐震建物 07 につきまして規制庁側から確認事項がありましたらお願いいたします。
0:03:27	よろしいですか規制庁ハバサキですよ。
0:03:31	今トガンさんからも説明あったんですけども、話きいのは、当資料ですと、
0:03:38	後に建屋のシミュレーションの話、117 ページからですかね、この件だと思えます。それで、今 134 ページのところを
0:03:48	企画の方ですね資料としての掲載SRモデルの結果の結果等については検討中ということなんですけど、今のお話ですと、何かとかのシミュレーション結果取りかえるようなふうに受け取ったんですけど、そういう
0:04:05	9 日ちょっと個々具体的にどういう方向で今検討されているのかとしていただけますでしょうか。
0:04:14	これが目の上にございますけれども、まずここに書いております。四角囲いのところにつきましては結果についての考察及び資料としても想定されて書かせていただいているんですけども、まず資料失う二つ目の資料としての体裁ということに関しては、
0:04:34	前回のヒアリングのときにハバサキさんにより、だんだん
0:04:41	観測記録と、次の 150 数 135 ページで観測記録と 3 人二分戻ると。
0:04:51	これは下請けモデル行三番の結果も知ってますけれども、このまま試験免許がそもそもいいのかっていう話もありましたので、
0:05:03	そこに充てられませんかというところについて
0:05:09	負けている段階であるというところでございます。再編真似を結果については考察についてなんですけれども、前回のヒアリングのときから、
0:05:24	ヶ月ちょっとたっているんですけども、今現在、このいわゆる面積として、
0:05:34	まだ確実にこうやってるところにきてませんけれども六、七ある角度でこれはある程度あるというような業務というのは掴みつつあるところでございます。

0:05:48	しかしながら、その考査室をこのまま走っていった場合に、今回の申請のように建屋がターゲットになってくるときに、
0:06:05	なおなんていうでやっているような
0:06:09	35km、公の場づくり、A系とか神戸するって、まあちょっと、
0:06:20	厳しいものがあるということもありまして、何か選考会ペア。
0:06:26	実施されており、いろんなところもかんがみてもちょっとFMモデルでちょっと見過ぎて予想して、やはりそういったものをちょっと適正化してこの 130 ページのこのあるのかもちょっと
0:06:42	いろいろな暴露ませんで、先ほど取り組みをしているという段階でございます。
0:06:49	回答としては以上によります。
0:06:52	それとハバサキです。御説明は理解しましたので、今もお話あったように、
0:07:02	これAB建屋、分離建屋で的にどこまで都心レーションのところ行ってやったっていうのは確かにあるんで、今言われてたようなシナリオになるのか、或いは、今ここでは、あくまでも今回申請対象の
0:07:20	PaとびあのアンチFEMの検証という位置付けですのでそこら辺、どう使い分けるのかということところはちょっとこちらですね、間が掴めたというか思ってたので、ちょっとお聞きしました。
0:07:36	いえ、今のお話で、改善させるような方向でというような結果をですね。
0:07:44	命令系統ということでしたのでその結果を見てからというのと、少なくとも、今こちらで火災と考えてるのは、SR
0:07:55	の載せる置けないの話ではなくてあくまでも観測記録との整合性があまりよくないですということですね、そこら辺の分析改善の方を一等や次回以降にちょっと
0:08:11	説明があるというふうに理解しました。
0:08:14	えっと、そういう理解でよろしいんでしょうか。
0:08:18	日本原燃の井上でございます。当社の認識としても、今ハバサキさんのおっしゃられたところでもございまして、行われるもの線と赤の線が改正ということでは問題だと思っておりますので、そこをちょっと
0:08:36	改善していくと、
0:08:39	またちょっとこの資料がPa到達は相対的にしたものでこの分離建屋のそれを即応する立ち位置としての
0:08:54	資料であるということに認識はしておりますので、結局このタテウチというのを踏まえて、整理させていただければなと思っております。以上になります。

0:09:07	非常にハバサキつつ、説明を理解しました。ちょっとそういう位置付けなんですけども、ちょっと117ページ目以降のですね、今保管されている資料についてちょっと具体的な状況説明教えていただきたい、確認対象が、
0:09:25	人、例えばこの資料の115ページから地盤ばで恐縮ですけども、今の地盤は、
0:09:35	対象の地震で青森県東方沖地震の有力班に応じた、一番、要は新法やって審議を考慮した形での地盤の条件での地盤ばね、或いはメキの評価になっているんでしょうか。
0:09:55	この部分の上で必要なおっしゃる通り、これ観測に対して、シェークなりバネを出した結果になっております。
0:10:07	以上になります。
0:10:09	委員長ハバサキですね。了解しましてちょっとそういった、
0:10:13	作業性についてですね、はっきり県民低下分も含めて欲しいのとあとこれ、専修学校の話でもしましたけど、例えばFM、の底面につけるバネの考え方ですね
0:10:34	鉛直ばねをどういう形でバイオ付けつけてるのかとかですね、そこら辺についてもちょっと説明の方をしてもらいたいという資料としてですね、いうふうに考えてますが、それはよろしいでしょうか。
0:10:50	メーカーがのみで承知いたしました。
0:10:58	その前の
0:11:01	前もって言ったのはですね、
0:11:05	すみません、100、
0:11:12	100ペイオフ法人からPaのところ、上着分子並びに視察でしたりとか、あとは113ページ目の取りつき具合とか、
0:11:31	そこら辺は結構れる前ずれてますので、書類審査とびあバージョン年目のちょっと付け加えるような形で指の三次元FEMモデルの
0:11:49	今見えた解析条件は黄色とちょっと関係していこうと考えておりましたが、いかがでしょうか。エチャバリです。そうですねそれと売買目的先ほど私申したのは、液位までを出すときに、
0:12:07	回転ばねがあるというときに、そう会見方向に合わせた天端でですねとか、あと上限ばに関しては、努力の場合には、
0:12:19	設計等が水平載荷方向の回転バネから平均化した形で委員長さんに出しているのか、或いは委員長の保存期間させるかという説明を先週から求めましたので、そういう。

0:12:36	地盤ばねの、先ほど申しました。東方沖地震の記録に基づいて精算補正してこういうメンバーにそのまま出してますという、そういう説明ですね、ページカバーしてると、よりこちらとしても、
0:12:54	審査ですね、いろいろ情報が入った。
0:12:58	本アクションとしては、やりやすいんで、これお願いしたいと思います。
0:13:05	趣旨は理解いたしました。
0:13:09	いや、でもOdyssey趣旨理解いたしました適切にかえさせていただきたいと思 います。以上になります。
0:13:16	はい。規制庁ハバサキです。それと同じ趣旨なんですね、118 ページのほうで すね、今回はよさポートピアが記録が内ということで分離建屋でないんですけ ども。
0:13:32	その解析上のほう売 1.2 だったんですけどこれはこういう比較をですね、来て もらっていただいて、今回の建屋の条件なりモデルから解析今日燃料加工建 屋の場合と、
0:13:49	どういう相違点なんか合っているとこと違っているとこあんのか、そこをもう少し気 に興味だったりということで、今回 118 ページの競合追記してもらったんですけ どね。
0:14:05	ここのモデルの条件とか先ほど地盤バネな話だとか、あと解析コードの話とか ですね、
0:14:15	もう少しここら辺の情報のために、理事じゃなくて違う点もあると思いますので そこももう少しつまびらかが説明して参りたいというふうに思いました。
0:14:28	それは可能でしょうか。
0:14:31	いろいろ今年のおいでしょつ金出しました少し
0:14:36	詳しくうかがわせていただきたいと思います。以上になります。
0:14:41	規制庁川崎です。大きなところですねは以上になります。それとですねちょっと 後は、具体的な話になるんですが、経営と、ちょっとこれ確認なんですか企業 86 ページのところ、委員、
0:14:59	飛びますけれども、委員等、
0:15:04	これも複数一等壁のところの評価生徒照査結果、
0:15:09	どうぞ。
0:15:11	鉄筋の材料強度を立ててまして、これ 4 桁の有効数字になってるんですけ ども、
0:15:18	基本的にやっとうこういった耐震計算書なりの表記は
0:15:26	有効数字幾つにするとか、切り上げ切り捨てのルールっていうのが確かあつ たと思うんですけど、これちょっと説明いただけますでしょうか。

0:15:41	件目ですが、ここで鉄筋の材料強度は持っていては、
0:15:52	JIS規格から
0:15:56	実績額で勘違いしているあったら言う場使って、今なってるっていうのは語弊 ちょっと実際にやると3号の民って一番して
0:16:13	一つのあれはちょっともう社の
0:16:19	都産サ行売ってるん違うしているので多分その数字がそのまま載っているん だけ。
0:16:28	ですね。
0:16:30	エチャバリのちょっと御確認してくださいっていうのは、希望が有効数字3でた こういう許容限界に関しては、4日目を切り捨てましょうとか効力は切れる場所 だとかそういうのが、
0:16:45	あともうそうですね、はい。これ、それにのっかってますかという、そういう確認 してくださいっていう、そういう趣旨です。
0:16:55	償金いたしました
0:16:59	うん。
0:17:00	最後の1. 一倍した後は売上っていうのもちょっと電卓たたいて確認したんで すけれども、その場合はわあわあ整備になるので、このままでいいかと思うん ですけれどももしない場合で多分ちょっと、適切な金利
0:17:17	材料強度ができる下げるとか、そういった処置をさせていただきたいと思いま すがいかがでしょうか。
0:17:24	減っちゃうわけですが、そのたちの方、隻いただければと思いますちょっとこの 資料以内も以前ですね、ちょっと同じような疑問を持ったところは3件受けまし たので、今後取りまとめる或いはその補正しますね。最近それで。
0:17:42	段階で、そこら辺をきちんとちょっと届きいただければということで、今回指摘し ましたが、よろしいでしょうか。
0:17:49	大部分を許す仕様といたしました。
0:17:53	規制庁ハバサキです。ちょっととりあえず私の場合でございます。
0:18:06	規制庁の武田です。その他、規制庁側から確認事項がありましたらお願いい たします。
0:18:22	はい。
0:18:23	どうぞ。
0:18:26	キシノで言うそうですね、37ページについて確認したいんですけども、
0:18:34	37ページ(2)配管機器配管系への影響が考えられる部位の抽出の説明があ るんですが、
0:18:41	1月9日

0:18:44	では、前のほうを 15 ページから 16 ページで、一応考え方の説明があって、
0:18:52	ここによると、10 ページの図の③とか、
0:18:56	⑤という関係に対する強盗致傷報告。
0:19:03	⑤の三次元FEM精査で建物構築物の影響の観点で抽出されなかった部位でも機器配管への影響の可能性が想定される部位は検討対象として抽出するという
0:19:18	考え方が前段に説明があるんですけど、37 ページで、
0:19:23	本当にできるのはおそらくその抽出した結果について御説明かと思うんですが、
0:19:27	ここでの結論が結局どこを抽出したのか読めない。
0:19:33	あと、
0:19:34	3次元FEM
0:19:36	で、建物の観点では抽出されなくても機器の観点で抽出されるといったプロセスも、
0:19:42	読めないのですが、
0:19:45	結局機器の抽出結果として、
0:19:50	三次元のFEM踏まえてどのような結論に至ったのかっていうのをまず説明していただけますでしょうか。
0:19:58	もう波源モデル数資料 56 ページのフレーズをちょっと見ていただきたいんですけど、
0:20:07	イノウエ③ぼひし形ああこれ荷重の組み合わせメインルート特性が制定される部分ということで、
0:20:19	サガワ部分 10Ma60 ページ 1 枚
0:20:29	知らないから、基礎スラブとか、あとペネの壁と複数グループのところの中三の窮境それとも方がEOSとして、下のフロアに落ちていくということになってますのでそれ以外の箇所については、
0:20:46	③未収レタールートメールになっており、今までの業務共有して、今⑤菱形に落ちていくことになろうかと思いますが、ここになるよう部分を三次元FEMモデルを用いては
0:21:06	このイトウところで、べしへのやANSIいただいている。これはもうところでしたりとか、はあとはもう測線に関しては参考のところの後ろのほうで、
0:21:24	3年で行う教育をした誘起建家農協評価を行っておりまして、そちらで
0:21:34	ナロー予定費がヤマグチを超えてもらうというところで、これらも菱形の上で、
0:21:45	当社のレバー業務も落ちてん印、結果としてひし形などで場合に、これで透明性もしてくるものもございました楽天の使命で最終的にはこの概念のひし形の

0:22:06	機器配管系とかですね、仕掛けもまだまだそういうふうと思うんですが、一番最初のひし形の先ほど抽出した期生壁や運営の。
0:22:24	これこの後、名は多分もうこちらの資料を実施の方法でやっておりまして、
0:22:34	要件はいろんなこの 37 ページの記載をさせていただいておるといって制度になっております。
0:22:45	以上になり、
0:22:46	うん。
0:22:49	すべてのキシノですということですね、ちょっと今の御説明よく理解できなかったところ、幾つかあるんですが、まず 16 ページのフロー図③で
0:23:02	技術的に乗ったとしても、要するになったものが 36 ページというふうにおっしゃったと思うんですが、そういう理解でよかったですでしょうか。
0:23:14	個目ですよ。資料番号雨さんで抽出をしておるのは 21 ページで、
0:23:26	タナカ 10 見込みます学生寮ところで、この部分も考えられると。それに対して、
0:23:38	当社として晶出したほうが、ファームウェア摩耗 28-1 の表で 1 分 1 とか 1 ぐらいで止まっている部分はちょっと小さくて申し訳ないんですけど、
0:23:54	の抽出した箇所該当しているということで、これは抽出箇所に関して等方と分娩制の下に 3 する荷重特殊性などを訴えて大間版評価してるんです。
0:24:11	検討を行ったものが 35 ページを再結合-1 表に書かれているものもやっているとそういう整理でございます。以上になります。
0:24:27	それとのキシノです。ちょっと一つ一つをたどっていくと、どうもなさそうな感じで、まず資料の説明は以上ですね、わかりやすくしていただく工夫としては 16 ページのフロー図のほうに①からなる、
0:24:44	なのですかねというと、これに、
0:24:48	この 17 ページ以降の説明はどう対応してるのかっていうのが明確にさせていただきたいなというふうに思っております。
0:24:57	その上でなんですけど。
0:25:02	37 ページの(2)の記載というのは、おそらく 36 ページ、代表として選定した柱基礎スラブ化で、
0:25:11	これを受けて、この中から、基礎機器配管系に影響あるものを抽出したという流れで 37 ページの記載になっているように思うんですが、
0:25:23	その理解は間違ってますか。
0:25:28	ムラタ性を規制庁様部会で間違いございません。以上になります。ありがとうございますキシノです。ええとしますと 37 ページで記載しているのは一つの部分は影響の可能性はないかでは影響の可能性はないと言っている。

0:25:46	可能性を否定しちゃってるここでも機器への観点でも対象から外されていると思いますので、37 ページ(2)の結論というのは、結局、36 ページで抽出した柱書きがヘッド危険な影響の観点で、対象というそういう理解でよろしいのでしょうか。
0:26:09	メーリングですよ、この出資については、
0:26:17	基礎のちょっと 37 ページの数量平均応答柱についての
0:26:23	記載をまとめ方ですけれども、ちょっと別件がありまして、病棟参集的／ところ教育は 3 部 2 ページのところどうなの写真をおつても書かせていただきたい。
0:26:43	ちょっと修正させていただきたいと考えていますので、これは写真イノウエ通勤は
0:26:52	そうしたような
0:26:55	オガセサトウちのだけ見るとね事務システムの中でこちらも
0:27:01	これらのすぐのところの面を無事故、今の評価というところになってきますので、県停止とか、故障ということで相関変形角で、
0:27:15	やったんですけれども、やっているという結果になっており、ありますし、また
0:27:22	結構ツーツーなところの機器がありませんので、そういった観点でも影響ないというふうに整理しております。以上になります。
0:27:35	それぞれのキシノですね、
0:27:38	37 ページの説明だと基礎スラブとプールの方は対象から外れてさせるグループという結論だという説明に聞こえたんですけれども、
0:27:49	15 ページ、16 ページウノ 30 円フレーム観点で建物では選ばなくても、機器の観点で影響あるものがありますよという説明があったんですが、それはこの 35 ページの 3-36 ページの 37 ページなんかって、
0:28:05	そういったプロセスを経た上で 37 ページの結論に至ってるという理解でよろしいのでしょうか。
0:28:13	すみません、きっと 4000 問われてきてなかった部分があるんですけれども、
0:28:23	ちょっと物件初めから施工性のよろしいでしょうか。はい、規制庁のキシノです。
0:28:29	はい。
0:28:31	今、37 ページでもう機器に対して抽出たぐいの結論が書かれているという御説明だったんですが、平成 15 ページは 16 ページで三次元FEMの精査によって危機に影響はあるものについては、

0:28:47	また別途抽出するという説明がありまして、この 36 ページは 37 ページの説明の中には、その三次元物議も踏まえて、機器の影響があるという抽出したというプロセスが含まれているのでしょうか。
0:29:04	質問です。
0:29:07	続きましたでしょうか。
0:29:16	すみません少々の聞いていただけますでしょうか。
0:29:30	すいません部門ですと 33 ページ。
0:29:35	いわゆる
0:29:38	(3) 利用分までの後で確認というところで名盤ば可能なパラグラフのシステム。
0:29:51	この例で評価の結果というところからなんですけれども、ぜひ公民直方向も含めて、当然この数学耐震性の影響が小さいことからぜひ後備
0:30:04	うち高温地震力の組み合わせ運用 900 を実際に抽選なかったというところをもってなサトウ場のページのほうに行っているという。
0:30:14	整理してます。
0:30:16	以上になります。
0:30:22	規制庁の続きを 33 ページの説明でもって時に影響を与える部位も抽出されなかったことが説明されているという理解でよろしいですか。
0:30:35	その当時でございます。
0:30:40	農業
0:30:42	規制庁カミデです。
0:30:46	ちょっと本件
0:30:50	46 ページのフローに対して、どういう検討がなされているのかで最終的にどういう結論にあるのかというところが読めないの、質問をしているところです。
0:31:06	ちょっとその回答を受けてもなかなかこちらからは
0:31:11	どういう考えをしているのか理解できないところなんですけど。
0:31:15	ちょっと担当の方じゃなくても今話を聞いていて、資料の修正イメージというか同等というふうに直していくみたいなのか掴めていれば説明いただきたいんですけどいかがでしょう。
0:31:50	んつくるん中に個目の防止でございます。今おっしゃられているところといったところがこのフロー図のところと、最終的なその対応関係のところなかなかその一対一対応ができていないといったところで、非常にわかりにくいといったところだと思います。さらに今ひとつの関係

0:32:10	都市計器への影響評価として実施する部位があるのかどうかっていったところの観点のところはその⑦のところでは何か一括的にちょっと答えられているといったところがあって各三番、5番とかですね6番の対応とパスして、
0:32:26	最終的に遠いところで、その機器の影響があるのかないのかというところが見えにくくなってるといったところがございますので、その部分に対しましてこのフローに沿ったような形のところで、各フローの段階において、どこが対象部位になっているのかといったところでその部位に対して影響があるかないのかっていったところの観点です。
0:32:44	まてめの評価とプロセスとしてその沖側への影響としてあるのかないのかといったところを各ステップの段階でちょっと整理させていただくような形の方で調整するのかなというふうに理解しておりました。以上でございます。
0:32:59	はい、規制庁込みです。3ポツ幾つかの記載はそういった形でフローに沿ってどこで何を選定してどこで何を除外したのかっていうのわかるように今トガシさんが言われたように、
0:33:16	作っていただければと思います。あとこの資料だけじゃないんですけど結果のさ、最終的なまとめっていうものを
0:33:25	この資料で言うと多分4ポツ、
0:33:28	にあたるどころに書いてある資料とか行けない資料があつてですね、基本的にはすべての資料に相当まずまとめでどういうことなのかっていうことを記載させていただいて、あとさらに申請書の対応を反映するしない。
0:33:46	申請書に反映するのか、補足のみで終わるものかどうかそういったところもですね、この資料だけじゃなくてまとめをきちんと書くようにお願いします。
0:33:59	連動してございます。今神谷さんのおっしゃられたところ、理解しましたので最終的にすべての白いとしましてまとめといった形のほうでその資料の総括といったところを記載させていただくとともに、最後ありました、その構成への反映の有無に関しまして明記するような形のほうで、
0:34:19	対応させていただきたいというふうに思います。
0:34:24	規制庁カミデです。よろしくお願ひします。その網羅性、どうぞ。
0:34:31	部門ですけれども、載せませう話を途中で遮ってしまつて、ちよつともう一度、この16ページについて、
0:34:43	なるチーム温めからちよつともつかい御説明をさせていただいてよろしいでしょうか。
0:34:59	どうでしょう。
0:35:03	規制庁カミデです
0:35:06	何とのPRてることは我々実用炉の審査も見ているので、

0:35:13	何となく掴めてはいるんですけど基本的にその結論の部分とあと資料の記載ぶりっていうところをイメージして話をしているので、ちょっと口頭で細かい話をしたところで、
0:35:28	ちょっと
0:35:30	あまり解決にならないのかなと思いますので、特に不要と思います。
0:35:38	承知いたしました。ありがとうございます。
0:35:42	クレーム等最終的な結論
0:35:49	私の耳に至った過程というんですか。ネームプレートでもう少し書くという湿気でもよろしいでしょうか。
0:36:03	ます。
0:36:04	はい。
0:36:08	規制庁カミデです一応先ほど飛ばし山王イメージ掴まれてたと思う。言いますが、何か説明が必要ですか。
0:36:32	はい。
0:36:41	基本的に先ほど規制庁カミデですけど、先ほどキシノが確認されてたようなところがですね読んでわかるような資料にしてくださいということなんですけど、要はクローズのような形で体系的に流れを作って、
0:36:58	確認をしていくということがフロー図上では示されているので、そのあとの説明についてもちゃんと流れに沿ってですね、どういうことを考えたのかということが伝わるような資料構成にさせていただくと。
0:37:15	ということなんですけど、それで理解いただけますか。
0:37:27	イノウエですし、承知いたしました。
0:37:32	ちょっと資料記載の不鮮明なところの
0:37:40	ありますので、名ちょっとわかりやすいように、結構多分形は変わるかもしれないんですけどちょっと事務的にさせていただきたいと思います。
0:37:53	よろしくお願いします。
0:37:59	規制庁カミデですよろしくお願いします。
0:38:06	全般的にまとめをちゃんと書いてくださいねという話をしていたところなんですけどあとあのようと思っていたのは、
0:38:16	今日もこの後1の関東とかばらつきとかっていう時代があって、何か影響評価ものっていうんですかね、あると思うんですよ。で、これを申請書にどういう形に記載するのかっていうのは、それぞれの補足説明
0:38:36	そのときにも確認しますし、今準備いただいてる耐震00ですかね、共通シリーズ。
0:38:43	許可を受けて、

0:38:47	設工認の基本設計でどうするかで店舗をどうするかといった流れで、
0:38:51	の流れの中でも説明があると思っていますので、そういったところを説明できるように、00 のほうでも合わせて説明できるように準備をしておいてください。
0:39:10	はい。による粘土が出席をいたしました。
0:39:15	はい。あと規制庁カミデです。あとちょっと単純な事実確認なんですけど。
0:39:21	最後に 104 ページのところの
0:39:26	なお書きのところがちょっとよくわからないんですけど、
0:39:34	何かその危険に対して、補足説明資料を
0:39:40	用意するということなんですけど、
0:39:44	これとは別に、
0:39:45	水平 2 方向に関する機電側の補足説明資料の提出を受けているところで、これは一体どういうものなんだろうっていうのをちょっと思っているんで、ちょっとその辺を解説いただけますか。
0:40:03	駄目ですよ。
0:40:06	シーボンの
0:40:10	193 ページ。
0:40:13	銀行である鋼管のプロウノな運営建屋について、34kVを 3 人分までの
0:40:24	今おっと比較して
0:40:29	背景ところに関して危機の影響評価ということに関して、センコーと契約もやっております、当社のほうにおきまして、相場と同じようなことをお金もうけは思いますけれども。
0:40:45	申請部分におきましてはもうちょっと
0:40:50	文案建物構築物の申請ということで、機器配管については、今回の申請対象がでございますので、この部分だけ記載させていただきました以上になります。
0:41:07	規制庁カミデです。起電が出ている水平 2 方向の資料とは、これはなぜ別に する扱いにしてるんでしたっけ、ちょっとその辺も説明をお願いします。
0:41:20	うん。すごい基本サガワの評価をするというような
0:41:27	その基金の方をして、
0:41:30	どれプロセス的な今日はなしのところをやっぱり
0:41:35	訳の整備をしているかと思うんですけども、まとめとの変更を必要なんですけれども、
0:41:44	この決定の

0:41:46	この資料のところでネームキリン状況というところで7章の拠点うーんっていうんですけども。それでは別に機械環境面の4拠点、先ほど申し上げたように機器配管系に対して、
0:42:06	ここで決まる許容が移送の機器を抽出してということ。
0:42:10	前やっておりますんで、イノウエまでであれば、分割申請とちょっと文化振興とを結んで、
0:42:21	機器配管系のシステム、これも資料については、先ほど申し上げたように、
0:42:29	機器配管教育システムの効果的な影響あるかないかの評価を行ってまたこちらの基本予算額のケーブルに対する評価結果果たせない。
0:42:43	規制庁かみさんの途中ですいません。
0:42:46	別物と整理してるっていう説明をされているのかと思うんですけど、
0:42:52	この資料はあくまでも機器配管が建物構築物ですという話で、
0:42:59	冒頭の4ページだと耐震工認ガイドの3.5.2を引っ張ってきてこのに対するものですと、
0:43:07	言っておられて、そこを分けるのは別に構わないんですけど、今機器への応答っていう意味だとこれ3ポツじゃなくてよい4ぽつ側に行くんじゃないかと思っていて、そういう意味で、
0:43:23	その機器個別で応答10分明確かどうかで考える水平2方向の話と、あとこの建物のその三次元的な応答っていうものを踏まえた水平2方向っていう話は、
0:43:39	時電側だと同じ要求というか同じ確認項目に対する説明なんじゃないかと思っ ていてですね。そうであればわざわざ補足説明資料を分ける必要もないなと思 っているんですけど、その辺り、
0:43:55	どういう状況でしょうか。
0:44:06	日本原燃同士でございます。ちょっと今のカミデさんの御指摘も踏まえまして 側の整理としてさせていただくのかといったところをちょっと来連合の方と調整 いたしまして皆さんの御趣旨としてはやはり機能の強化の一連のものというよ うなところも、
0:44:22	午前として認識しましたのでちょっとその旨をですね伝えた上で初期費用の方 と調整いたしまして、こちらの補足し説明資料のほうでまとめるのかといったと ころはあの絵と調整させた上で回答させていただきたいというふうに思います のでよろしくお願いいたします。
0:44:38	はい、カミデですよろしくお願いいたします。多分MOXの
0:44:44	時気が出るときのことを想像するとですねMOXのき電の審査で水平2方向を 確認するときに、

0:44:53	機器の形状に着目した水平 2 方向っていうのとあとは燃料加工建屋自体が持っているものっていうのを両方併せて水平 2 方向の妥当性っていう御説明されるんじゃないかなと思っていてそのときに、わざわざ補足をあける必要もないだろうと思ってますし、
0:45:12	そういう意味だと
0:45:15	第 1 回においても冷却塔は機電側が申請されているので、
0:45:21	その中でも、要は冷却塔の建家冷却塔の基礎までの図で水平 2 方向を
0:45:32	奇形の影響がないことは、耐震建物の資料で確認しているから、これだけ見ておけばいいんですよという話にもなるかと思うので、いずれにしてもちょっと問題意識は認識いただいたと思うので調整をお願いします。
0:45:52	非常にどうしてございます。趣旨は理解したんですけど、ちなみに食べさせるところのほうの、今、燃料加工建屋側のほうで影響検討として出てるという位置付けになって参りますので、こちらのほうの最終的な補足のほうで、今回の燃料加工建屋の部分で一部の影響のあるところっていうのは
0:46:12	第 2 回申請の中の機器側の 2 方向の中で構成させていただくというような取り扱いでこの調整するというような位置付けで考えておりましたけれども、そういう理解のほうでよろしかったでしょうか。
0:46:26	規制庁カミデです。
0:46:29	燃料加工建屋内の機器の
0:46:33	まあ、水平 2 方向野と結果を第 1 回で説明するようにと求めているものではなくてそれは構築は申請出てくるものだと。
0:46:43	思ってます。
0:46:47	はい、入力いたしました。
0:46:57	うん。
0:46:58	すべてのキシノです。すいません。日本原燃のウラバヤシでございます。ちょっとあの追加で質問でございます。私ども水平 2 方向と、この資料に関しては、例えば建家時伝統預貸当初は
0:47:14	資料番号分けとるんですけれども添付資料の構成上も水平 2 方向と鉛直の考え方っていうのは建屋機器関係なく一つのテーマで一貫して、
0:47:25	例えば間接支持構造物の上そこに応答が影響があるのは後続でその機器の検討に続くっていうとあんパッケージをイメージしてございましたので、そういったことからいきますと前用に関しては本資料で影響がないというふうに整理して、
0:47:41	燃料加工建屋についてはまず建屋の

0:47:45	支持構造物の本資料の説明がありまして、それはそのあと2回目以降必要であれば機器の評価っていうのは続いていくっていうイメージで提出がちょっと分割されておるんですけども、最終的にはパッケージ化するという
0:48:01	ことで対応できるのかと考えておるんですが、これでよろしいでしょうか。すみません。
0:48:10	規制庁上出専務さんのパッケージかという意図がなかなかヨコオ管内ですけど。
0:48:19	どうかということで、この耐震建物072、これに後続する筆記の
0:48:30	影響評価の話も、いずれ含んで話をしていくってことですか。
0:48:56	その際に身分ウラバヤシTestとこれから死ぬんですけど、東村0号側の資料とか見ますと水平2方向というのはあくまで一つのテーマとして、
0:49:08	建屋があつて構築物があつてそう遠く基金があつてっていう。
0:49:13	いう屋外とかそれに1冊にまとまって、
0:49:19	御説明差し上げている資料と認識したものです。
0:49:24	いや、こういうことではないということでしょうか。すみません。
0:49:28	規制庁コメント私のコメントの趣旨がその実用炉のように、一つの資料に建物も機器もまとめて説明するよというわけではないです。今のように、
0:49:45	分けてもらってもいいんですけど建物と機電で分かれるの個別にですけど、機電側に二つに分かれるっていうのはちょっと違和感があるなということでお伝えしてるところです。
0:50:00	いや、すみませんためにもちょっと確認させてください。
0:50:07	私の理解なんですけれども、交付額4ページで買うて遺漏以降も
0:50:16	昨日の評価というものを今、僕らミカミなんですけどねw見返りバス風味方向の評価にこの兼務を覆う込んで評価した食塩
0:50:31	付け加えると、今回のいわゆる耐震性に関して言えば、4については、今日は規制とムラノ機器両方
0:50:44	申請させていただいているので、延ばして、申請で出させていたでいる教員向けの職務に対して、例えばとしても、例えば、
0:50:58	駄目か根拠がないのでもしなるだつてあるかもしれません。今日はベンダーとかその辺、
0:51:07	影響もちゃんと考慮した上での諮問を作るという。
0:51:11	私の理解なんですけれども、合ってますでしょうか。
0:51:17	規制庁カミデです。今の話。
0:51:21	で言えば理解され、私の認識と合っているとします。
0:51:28	行目ぐらいです承知いたしました。

0:51:31	デリバリ漏えい結局このうち、最後のなお書きの部分について
0:51:39	ちょっと適正化させていただくとともに部分みを
0:51:44	オオヒガシについては、来兼務コントロールについて見ますために記載させていただきたいと考えております。以上になります。
0:51:57	はい、規制庁ヶ月もう少しあの認識確認。
0:52:00	をすると、204 ページの補足説明資料文科省ってところが、今で言うと耐震基準 10 番ですかね、耐震記念 10 番の水平 2 方向の補足説明資料があり、具体的な燃料加工建屋の機器の評価結果は時加振成功示すということ。
0:52:20	書かれるというところが 1 点と、あと大地震起電 10 の中でも、この耐震立ても 07 を踏まえて、まず 4 っていうのはたった建物構築物の観点では影響がないんだけど、
0:52:36	いうところも加えて説明がされるというイメージです。
0:52:44	モリノいらっしやいありがとうございます。もう。
0:52:47	初診運営委員会いたしましたので、そのA反映させていただきたいと思います。以上になります。
0:53:01	そして、
0:53:03	すみません、先ほどのやりとりの中で、
0:53:05	確認したいんですけども、
0:53:07	37 ページで結論としては閉ま 30 年の生産も含まれても、
0:53:15	柱。
0:53:18	G値が抽出されないといった説明だったかなと思います。
0:53:22	3 次元FEM燃料加工建屋についてやった結果、次の参考資料として 193 ページ。
0:53:31	一番下のパラグラフですね。
0:53:34	ここでは床応答を見ると、一部の周期体で増幅していて、でも気合いかければ影響についてはこの時間の中でやりますよというような説明になっていて、
0:53:46	結局三次元の結果からすると機器配管系の影響があるっていうのを示唆するようなとり方になっているんですが、これと 37 ページで、結論との関係をどういうふうになるんでしょうか。37 ページに何らか、この内容っていうのは反映されるという理解でよろしいんでしょうか。
0:54:06	個目ですよ。
0:54:09	最後の
0:54:12	こちらの機器の評価数件ちょっとこちらを消費した要領の※34 ページの期生の書き方の線にちょっとかえさせていただきたいと考えております。

0:54:26	ちょっとあと1点納付しても存続というますか、なんですけど先ほどキシノさんの方から37ページは期生とプールは教学で野党させなければその影響がある分として考えています。発言があったんですけども、
0:54:46	デブリジェット発祥の費用についても、部長の記載が抜けておりまして、こちらについての機器配管系うに気温を、
0:54:55	ほかに繋がってそれ成分をさせて、
0:54:58	いただいているんで、
0:55:02	一定の見させていただくという整理でございます以上になります。
0:55:08	施設のキシノで37ページの結論については、先ほどから受けていた説明がそういう内容なのかなと私なりに理解したその申し上げたもちろん理解間違っているところがあるんであれば、それは
0:55:20	適切に理解しやすい説明に改めていただければと思います。
0:55:26	すいません。規制庁カミデですちょっと今の説明。
0:55:32	が必要。どう反映されるか。
0:55:36	ちょっと疑問だったので、柱については、⑦の中で影響なしという話ではなくて、16ページのフローで間接支持構造物の場合っていう矢印があるから、
0:55:52	もうここで載ってこないって話なんじゃないですか。
0:56:03	いや、ホールドいるすいませんカミデさんがおっしゃるというございますでしょうか。そういうことをちゃんとわかるように書いてください。把壁がすごい厚くて柱の中に入っちゃってるんですよ。で、隅柱だったら、
0:56:19	もう柱不足出てないんですよ。だから間接支持構造物足り得ないっていうことで除いているはずなんだけど、やっぱそういうことも書かれてなければ質問をしたときに、37ページの時に影響ない。
0:56:34	ていう話の⑦の中に影響がないような話をされてたんでダムお答えになっていると思うんですけどそういうところもちゃんと説明してくれれば理解できると思うので、整理のほうよろしく願います。
0:56:48	日本語で承知いたしました。
0:56:54	はい。
0:56:56	はい。
0:57:00	にとりまして、
0:57:05	委員長のタケダですと、ちょっと1点、図表の表記のことで確認させていただきたいんですけど。
0:57:14	イトウ196ページがわかりやすいかと思うんですが、
0:57:20	ここでコサク同等スペクトルということで失点系モデルと建屋三次元FEMモデルのスペクトルが西側中央、東側で記載されているんですけど。

0:57:34	青線の建屋三次元FEMモデルの角形が複数あるんですけど。
0:57:41	これは平均ではなくて、価格設定を重ね描いているということよろしいのでしょうか。
0:57:49	年内のみです。おっしゃる通りでございます。
0:57:53	わかりました。ではあの表のためにですね、よって例えば4. 平均値だとかそういった記載になってしまっているの、ここは適正化をしていただきたいと思えます。
0:58:04	すみません、適正森ですここの応答渡しているというふうに
0:58:11	記載をさせていただきます東西ますはい、お願いいたします。私から確認以上です。
0:58:18	そのほか成長側からございますでしょうか。
0:58:22	出ちょハバサキです。ちょっと中身について確認というか、と185ページのほうにFM結果から応答も合成比率を出されて組織化も結果的には溶け込んだものとも問題ないというような、そういう評価もされてるんですが185ページ。
0:58:42	次の応答率の値ですねタナカが
0:58:46	ちょっと大きめな傾向は見えてますか。この理由について教えてください。
0:58:58	少々お待ちいただいていたいただけますでしょうか。
0:59:11	キクチ
0:59:20	1個とかですよ。
0:59:28	日本海側で進む。
0:59:31	180mを
0:59:35	はい。
0:59:35	一旦これで見ると、高濃度のことでしょうか。
0:59:42	サトウ的にはこの表の中で一番表になると僕は持って移ってパーツと。
0:59:50	の要望もええんで、1.58
0:59:56	待っているところについてなんですけれども、
1:00:02	資料5を165のうち、
1:00:06	江府いただきたいんですけども、
1:00:09	例えば、ちょっと資料に載ってきたりして申し上げてるんですけども、
1:00:17	185ページも一遍まとめてもらってる接点が及ぶか地球業務
1:00:24	緊対所物件、ネット依存近辺の会社システムというところの接点が急に値がございまして、4、この集客カグループ図表表現へと娘確認していただくと。
1:00:42	これのクライシスの壁のところになっておりまして、所コメントを
1:00:50	影響というふうに考えております。以上になります。

1:00:56	規制庁ハバサキです。要は実態でいうと2番3番ですね、上から二つに関しては南側に開口もある。その理由ということで、ここに層厚に関しては大きくなってますよでEWはそれほど大きくなってないですね。
1:01:13	要はこのんでとびあ建屋の特徴の開口の影響ということになるかと思います。それで、
1:01:22	変更点バスから例えば同じことをやられてる通りとか、柏崎の現状建屋でも同じことやってるんですが、MACCSのそれだけはやはり1.3ぐらいいいから1.3ということで、今回PA建屋じゃなんで大きいかなと思つたらまあ先ほど説明があったかの話をこちらとしては、
1:01:42	やっぱりしてたとなつたんですけども、そういう理由はですね175ページの層にこのPJ建屋の特徴で、ここに開口があるから、このNS方向の応答補正比率は大きくなるとなつたというふうに考察を入れるなりしていただい
1:02:00	ないと、我々が構想して欲しいして混雑するっていうのはおかしな話になってしまふんですね、ちょっと176ページの操船公金のままではなくて、Pd建屋の状況を踏まえて、口側ないですね、当検討を結果みたいな形でですね。
1:02:20	ちょっと記載のほうを充実してもらいたいというふうに思いますが、それは可能でしょうか。
1:02:25	日本連盟の上で承知いたしました107、16ページにそれぞれの結果に対する考察もそれを付け加えさせていただきたいと思ひます。
1:02:36	以上になります。はい、北川です。今回スペックに関してはですねこれだけいただいて、先ほど開口の話だとか床剛性の違いということも書かれてたんで、それはこちらで確認しましたけれども、にかけなおと比率一般質問以上のような対応をしてお願ひしたいと思ひます。
1:02:53	それともう1回こつとちよつとこれ、これは以前、
1:02:58	してるかと思うんですが、要はPARの、今まさに大した話になつた南側の屋根スラブを今回評価対象外としているわけですね、26ページ違う一、二十ページとか30センチ、その記載があります床及びあるので、
1:03:16	問題のf要は同時性とかですね三次元的な挙動がないというふうにとつと、今されているというふう
1:03:28	この資料から見えるんですが、
1:03:31	例えば116ページのモード図を見ていただく限りでは水平方向の過信に対して鉛直方向の
1:03:42	変位ものっていうのが出てるわけですし、もう少しスクリーンアウトするんならそういう理由をですね、利用者としてこう判断したっていう理由を書きたいという。

1:03:55	のが趣旨なんですけれども、
1:03:57	今この資料上、そこら辺で対応され、
1:04:02	タップんでしょうか。
1:04:04	これちょっと以前もお話したかなと思ってるんですけど。
1:04:17	そう。
1:04:28	日本でどうしてございます。ちょっとこちらの方はいらっしゃるところとして、
1:04:33	右のほうを理解してございましてちょっと我々のほうとして今回、間接支持構造物としてそういったところでの機器があるのかなのかっていったところも含めてちょっと社内的に今調整しているところではございましたので、そういったところでもし対象のですね機器とかがない場合につきましては確かにあのメンバーシートっていうところで気になるところでございますけども、
1:04:53	最終的には来影響がなければですね多分建屋の評価部位としては影響してこない部分だというふうに思っておりますのでそういったところでもですね含めまして、別途御回答させていただきたいというふうに思いますのでよろしく願いいたします。社長の話です。e-Water方をお願いします。機器がなくて、例えば波及的影響。
1:05:13	安全とかですね柏の機能をですね7号のときにタービンの屋根に関してでもですね、同じようなことを事業者に求めて、耐震評価までやって、
1:05:24	だという経緯がありますので、今回今回この屋根スラブを評価までやってください。
1:05:32	という八百屋べきじゃないですかっていう、そうじゃないんですけれども、国がと通学理由を、やはりこの資料の中に残しておいてもらいたいと。
1:05:40	というのが趣旨です。よろしくお願いします。
1:05:43	営業日にトガシございます。了解いたしました。
1:05:47	規制庁ハバサキからは以上です。
1:05:52	規制庁の武田です。その他東海市につきまして確認事項等ありましたらお願いいたします。
1:06:03	よろしいでしょうか。
1:06:04	よろしければ、日本原燃のほうから等改修について修正方針等を説明をお願いいたします。
1:06:15	その上ですね運営、本日のヒアリングを修正項目としては、まず、経営本部の加納次長今後ますので、ちょっと記載しますが、
1:06:28	やっぱり0っていうのがやっぱございますので、その部分についてマクロでもあるの抽出して、

1:06:36	その結果耐震の評価機能の評価でどういう務めってのは影響ないとしたのかという流れに修正の方さしていただきたいと考えております。
1:06:50	／んと参考資料の層面につきましてはまずドーム部建屋のシミュレーションについて、ちょっと考察等を引き続き行っていくと。
1:07:04	バターA及び建屋というのはマーケットPMは京都の量時点もう少し拡充したようにですとか、あとは
1:07:14	機器の評価やっぱりどういうふうな形で整理する。
1:07:19	実際とかそういった点も記載の適正化にさせていただきたいと考えております。以上になります。
1:07:28	規制庁、川です。ありがとうございました。
1:07:31	それでは、次の資料の確認に進みたいと思います。
1:07:37	次の試験を退職されても 11、
1:07:42	こちらの支援につきまして日本原燃から説明がありましたらお願いいたします。
1:07:51	はい、2 億円トガシでございます。こちらの方の地盤物性ドアのプロセス。
1:07:56	委員に関する検討につきましても前回いただいたコメント事項を踏まえまして今回見直しの方さしていただいておりますので、よろしくお願いたします特に以上でございます。すいません、日本原燃キョウダでございます。はい。補足させていただきます。立山さんのばらつきな検討に用いる実強度についてなんですが、
1:08:16	現在施工中の部分の種晶洞 8 強度試験などを踏まえまして、ちょっと見直しを行っておりますので、その点だけ御報告させていただきます。よろしくお願いたします。
1:08:32	資料。
1:08:36	40 分ぐらいで見ているのか。
1:08:41	中長期的なんですみません今の補足説明についての確認なんですが、圧縮強度について見直しを行っているとおっしゃったんですけど、つまりこの系統資料悪いの記載内容が今後変わるというそういう意味と理解してよろしいですか。
1:08:57	日本原燃キョウダでございます。
1:09:00	資料で言いますと、
1:09:07	うん。
1:09:15	じゃ、
1:09:21	はい。

1:09:26	中途キシノすみません。ましょアピールというおっしゃってたので、別途、今日の資料が今後変わり得るのかそれとも行った結果、今回、今日の資料なのかっていうところについて教えていただきます。
1:09:40	キョウダでございますが、2次年度の方針の案につきまして、前回、
1:09:46	使っておりました。
1:09:49	それ値っていうのは、43. 発表 43.82. 4mm一旦ですがそれよりも上にウラバヤシでございます。見直した結果が今回の資料に反映済みでございます。
1:10:01	具体的にどう見直したかっていうのが今キョウダが御説明させていただいてる内容です。
1:10:07	で、その結果として結果系はこれから差し替えですけれどもどういう数値に見直したかっていうことは本部で、
1:10:14	反映済みでございますこれは 318 ページに結果系として載せております。
1:10:23	はい。規制庁ちゅうの本資料に反映済みということで理解しますと、
1:10:35	規制庁カミデです。ちょっと本文の資料で、
1:10:42	前回これ 1.2Ssの評価って何ではなくていいんでしたっけっていう話をしたかと思しますので、それについては直下地盤の会合で話をされていて、その後のヒアリングで耐震A00 シリーズの中で展開して、
1:11:02	いますっていうことだったんですけど、
1:11:06	認識としては認識というか説明の方針としては、その当時から変わってないですよ。確認ですけど。
1:11:17	故にどうしてでございます。今小宮さんおっしゃった通りでございまして共通シーズのほうで全体的な考え方といったところで御説明のほうをさせていただきたいというふうに思っております。
1:11:27	はい。そういう所で制御されるとおのずとこういうところでもという扱いになるかということが整理されていると理解してますのでそういった説明をよろしくお願ひします。
1:11:43	あいうえおねどうしてでございます。横いたしました。
1:11:48	規制庁カミデです。あと、私から 1 点ちょっと細かい確認なんですけど、
1:11:55	5 ページの中段のなお書きの意味がですね。
1:12:00	前回確認したか定かでないんですけどちょっとなお書きで書かれている意味がよくオオオカなかったんですけど、解説いただけますか。
1:12:12	大変キョウダでございます。基本的に建屋物性のばらつきにつきましては、電源 3 弁の中で考慮しないといったところを明記しているんです。

1:12:23	参考としまして、参考資料のほうにですね例えば性のばらつきを考慮した地震応答解析結果というところも示しているといったような形で記載させていただいてございます。
1:12:38	規制庁カミデです。今 2 ポツ 1 の全体の話だったと思うんですけど 3 パラ目のなお書きのところの記載。
1:12:49	のイとか、ちょっと掴めないんですけど、説明をお願いします。
1:13:00	鉄骨造の屋根等は性といったような応答
1:13:05	懇系、この部分につきましては前回のPARについての時にですね、鉄骨造のネットワークについて、先行電力さんでは検討してるといったようなところで、コメントいただいております、当社としましてはこのような鉄骨のやつオガセ。
1:13:22	僕としては、該当するところがないといったようなところで表記させていただいております。以上になります。
1:13:33	規制庁込みです波及的影響評価の観点からやってるんだと言われてるんですけどそれって、
1:13:41	ですから、耐震重要度分類上も波及的影響を考慮するものと検討されてるんでしたっけ。
1:13:53	日本原燃の曾我です。波及的影響の企業監視員なりですねあと関連する補足資料のほうでこちらのほうを説明する予定なんですけれども、こちらはちょっとまだお示ししてきていないというのが実情となっています。
1:14:14	規制庁カミデです。重要度分類表を許可でも説明を受けたと思うんですけどそこにも反映ないですか。あそこ。
1:14:23	にも記載がないんで、設工認で新たに説明しようとしてるってことですか。
1:14:33	日本原燃スガワラです。屋根トラスにつきましては、重要度分類表上は系統経営層の発揮を対象として、名と明確に現れているものでは、
1:14:48	なかったんですけども、設工認の段階で
1:14:52	系統、ウォークダウンの結果も含めてですね、発見の対象として抽出した上で、その結果を示すということで考えております。
1:15:07	規制庁カミデです。
1:15:12	ちょっと、なぜそんなことをそんな整理をしなきゃいけないのかもよくわかんなくて、
1:15:19	単純に
1:15:21	許可の時点では平日の間接支持構造物で整理されてたんじゃないかと思うんですけど。
1:15:28	ちい違うんですかねその考え方を食べるっていうと、
1:15:33	ちょっといろいろ確認しなきゃいけないなっていうところなんですけど、

1:15:38	ちょっとこれ記載の整理だけだと思っていて説明の仕方だっけなような疑問をしているんですけど。
1:15:47	これが波及的影響だからというところは結構こだわりポイントになってるんですかね。
1:16:05	日本でどうしてございます。こちらのほうで発給っていう形のほうで整理させていただいている僕統一的なものっていうのが
1:16:14	県営PTとかです。床面走行クレーンが下にありましてその上での交通の屋根トラスがありましてそちらの部分が当然支持機能は持っていないものになってございまして、あくまでもその床面走行クレーンがまあ遮へい用キョウダイける時の
1:16:33	別クラスに対しての波及影響として出てくる部位があるといったところを少し念頭に記載させていただいているものになってございます。そういった部分がこの部分で来ます屋根トラスというような位置付けになってくるもので、こちらのほうから発電所で行くような形でいきますと、Sクラスと分類されているというものに対して、
1:16:53	あくまでも当社の場合ですぞう
1:16:57	床面走行クレーンのだいているものに対しての波及的影響といったものもございましたのでそういう位置付けのところこの部分は記載させていただいたところが、当社のこちらのほうに記載させていただいている趣旨になってございます。
1:17:13	規制庁絡みでちょっと確認なんです最初建家目おっしゃったと思ったんですけども、もう一度説明いただけますか。
1:17:21	会議において検討してございます建家名といたしましてgrass答え貯蔵建屋がございましてこちらのほうの警備室でございましてけれどもこちらのほうの屋根トラスといったところが具体的な今回形いただいている部分の対象としてエントリーさせていただいているものになってございます。
1:17:42	やっぱ最初DBって言われたEDGとEBⅡが対象、それ以外は鉄骨造の屋根トラスで存在しないということですかあ、あ、ごめんなさい、正確に申しますと、ED等EBつつと、あと警備
1:17:59	起立後FCMとUSCPです。こちらの方が対象になってきます。
1:18:08	そのすべてね同じ扱いをしている。
1:18:11	ということで、すべてはっきりのものだという整理をした。
1:18:15	これからするそうです。

1:18:17	屋根トラスに関しましては、直接視機能を持っているものでございませので、そういった位置付けのところでもはっきり的影響という整理のほうで今考えてございました。
1:18:28	もう一度建家をサービスへとBeBITS警備まで聞こえたんですけども、もう少しそのあとな何でしたっけ。
1:18:38	直接SBOなんですけどもFCM等、
1:18:43	CT、
1:18:44	FCMATMって何だったタカハシくださいFCIPCTを限られてTRACEという意味でいきますということで今前段で申し上げましたE2ED IIとあと軽微です、こちらのほうの3建屋になります。
1:19:01	当KBEの正式名称なんでしたっけせません。
1:19:09	第1号数個固体貯蔵建屋、
1:19:17	規制庁関数を講じまして、
1:19:22	それが、
1:19:27	だめプラスがなくても支持機能が維持できる構造になってるってということなんです。
1:19:40	一番最高明細懲戒の屋根でなっておりますので、基本的にもうその部分に機器があるわけでもございませし、またびあの耐震性っていう意味でいきますと、紙幣綺麗基本的には地震力を負担していくといったところの構造形式になってございますので、
1:19:58	そういった意味でいきますと、屋根トラスといったところに行く等もはっきり的影響を防止するという意味合いのところの下にあるミカミ則への波及的影響を防止するのかなといったところで、あと署のほうとしては考えております。
1:20:13	規制庁カミデです
1:20:16	ちょっとイメージで話をするときDBなんかは確かに固化体を入れると地表面より下の部分でコンクリートかちゅうかちゅうあって、
1:20:30	その上はもう鉄骨造になってると。
1:20:33	ということで下の下回りのコンクリートが
1:20:40	もう十分間接支持機能があるというへの
1:20:44	屋根トラス数がどうなろうと、その振動の影響というのは十分小さくて、まあ遮へい体なんです、耐震平均のところ、支持機能が維持できるってということをもし考えているのだとするとですね、
1:21:01	ちょっとそういった図を
1:21:04	入れてですね、こういう構造なので、

1:21:09	再処理施設の屋根トラスっていうのも大体こういう構造なので、評価を不要なんだっていう形でちょっと説明をいただくのが、
1:21:20	理解がしやすいのかなと思うんですけどいかがですか。
1:21:29	あと日本列島をしてございます。別途波及影響の評価資料っていったところはですね混迷を
1:21:41	今日更新関係の部分で出てくる部分がございますので、そちらのほうにKB5ですね、ECT率に対してのだめ構成図になる追加させていただいて、その辺りは9なんですよといったところが明確になるような形のほうで店舗の方さしていただきたいというふうに思いますのでよろしく願いいたします。
1:22:02	規制庁カミデです。最終的にそういう資料とひもづけるなどしてちょっとわかりやすく整理をいただければと思います。
1:22:11	基本的には熱がある建屋の構造部材がですね間接支持構造物じゃなくて波及的影響なんだっていうのは印象として違和感があるところなので、そこを解消すべく、
1:22:28	丁寧に説明をいただくということだと思いますので、ちょっと丁寧な説明をするようにお願いします。
1:22:42	はい。日本にどうしてございます。
1:22:44	ちょっとそちらのほうの資料でちょっと丁寧に説明するような形をしていただきたいと思います。
1:23:00	規制庁のキシノです。耐震建物 08G、
1:23:06	共通するところなんです、この 11 の資料の 15 ページですね。
1:23:13	表層地盤物性のばらつきとして、
1:23:16	へえ初期せん断剛性G0。
1:23:20	単位体積重量t。
1:23:23	についてプラマイ湾曲というばらつき、
1:23:27	という説明がありますので、その前のページ 15 ページの土地地盤で
1:23:35	Vsについては仕事旨御説明がありますが、単位体積重量のTEDについては 14 ページに記載がないので、おそらく一定値、
1:23:45	を使うんですが、15 ページで表層地盤について十条と連動させる形で、地域についても浜松信金のグループというのはどういう考え方によるものなのか説明していただけますでしょうか。
1:24:04	全面キョウダでございません。
1:24:06	じゃあちょっと表層地盤のばらつきにつきましては、側面ばねに関わってくるようなところがございますので、厚生に関する緒元としまして初期先端構成、ま

	た、5000 関わってくるというところがやっぱ単位体積重量も変わってございますのでこちらをばらつかせると。
1:24:25	そういったような整理でございます。
1:24:28	規制庁の岸本です。この表層地盤を卒業に関わってくるので。二つのパラメータを振るという御説明なんですが、そうすると支持地盤では出足地盤つまり底面ばねのほうはVSVPだけを
1:24:44	グリッパによるというそういう理由になるんでしょうか悲しい地盤について頑張っているのは、関わってこないという、そういう理解でよろしいですか。
1:24:56	日本へ統合してございます。こちらのほう当初ばらつきのほうを設定するときにはですね当社といたしましてもちよつとないようなところでございましてただ今回新しく出すねメモ°Cじゃない。埋め込みをですね考慮するといったところがございましたので、そのぐらいで表層の
1:25:16	いたところはやはり、その感度を持っているところもございましたのでばらつきを設定するに当たりますは、少し大きめのほうの辺りになるような形のほうで西縁欄性係数の町のほかにですね、大体終了の方法ばらつか設定、より少し下の応答の幅が出るような形のほうで
1:25:35	立派な機能を設定したといったところが、ウノ支持地盤とちよつと表層地盤のほうで少し表層地盤のほうのがの降伏し多くみてるといったところの理由になってございます。以上でございます。
1:25:47	規制庁の危惧されますよ。わかりました。つまりそれは表層地盤について、保守的な設定を
1:25:56	しているという。
1:25:58	ふうに理解すればいいんでしょうか。
1:26:01	やはり日本でトガシございますをきちんとおっしゃる通りでございまして今回新しく今回あの埋め込み効果を考慮したといったところもございましたので、その分類いたしましてプラスとしても保守側の設定と。
1:26:12	オフして二つのばらつきの方見させていただきたいというところでございます。
1:26:17	規制庁のキシノですということですね、C地盤等を比べて、違う考え方を表層地盤が一部導入しているわけです。その考え方とその背景、
1:26:33	押しではいるしてということになるのかと思いますが、そこら辺のその考え方の違いは、この資料及び耐震建物 08mの共通するかと思うんですが、そちらのほうでもですね説明を加えておいていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
1:26:51	日本でトガシございます了解いたしました。

1:26:54	規制庁姫新線ちなみにこれは表層地盤について配慮した結果ということになって時計設工認では
1:27:03	表層地盤の月っていうのは、設定してなくて、今回の法とか、
1:27:09	この考え方を導入したと、そういう理解でよかった。
1:27:17	日本でどうしてございます。今ちょっと許可どうはい。今回の
1:27:24	許可申請の中でという教科書ですかね。物性のばらつきについても説明ありました結果、30 ページですか。
1:27:33	はい。
1:27:33	許可申請時におきましては損し盤ですとばらつきというような部分の記載例のこの4月から少し記載ございません。あくまで工認段階におきまして、こういった形のほうでバランスしてってのをさしていただいといたところでございます。
1:27:49	引き続きですはい、わかりました。
1:27:51	ちょっともう一つちょっと耐震建物08の話でちょっと前出しになるかもしれませんが、最新建物08工場の直下地盤モデルについて物性の表層地盤についても、物性のばらつきっていうのを考慮した。
1:28:08	検討やってるかと思えます。
1:28:10	こちらのほうでは、この15ページとは違って、確か λ は一定でVSVPっていうのは、プラマイよろしいかっていうのを振っていたかと思えますので、同じ表層地盤でも、この15ページの説明と、あと直下地盤モデル、
1:28:30	で、ちょっと考え方が違うように思うんですけども、それについてはもし今担当の方がいらっしゃるんであれば簡単に御説明いただきたいんですが、もしいらっしゃらなくて説明ということで、最初の08の資料の中でも結構ですので、ちょっと説明お願いしたいんですが、いかがですか。
1:28:49	はい日本でどうしてございますが直接の担当が競技ないので0なんですけども基本的なものの考え方といたしまして、
1:28:59	高島のほうでいきますとアズイズというような形のところで直下でとれているデータといったところで、
1:29:06	使っているといったところがございます。こちらのほうの一方現在の提示のほうで記載していただいてさせていただいているその埋め戻しを行っていた部分につきましてはサイトの平均値を使っているといったところのあらましのちょっと違いがございましたので、そういったところで平均値を使っているものについては、
1:29:24	やはり斎藤のばらつきといったところも少し大きいといったところもございましたけれども申し上げたところで少し保守的な変動といったところを見ているとい

	ったところでございます。先ほど冒頭で御説明させていただきました直下につきましてはアズイズで取れてる地盤といったところがございましたので
1:29:42	ものといったところで売却重要まで延ばさせずに基本的には向性評価波に見ているといったところもでございますのでそういったところですね違いといったところに関しまして、次回御説明するというの 8 の中ですね、どういう違いが残っていたところまで進めた形のほうで御説明させていただき
1:30:02	というふうに思います。以上でございます。
1:30:05	続いているんですかといった何となく理解しました。づらく、
1:30:12	設計を地盤モデルが支持地盤と。
1:30:15	へえ直下地盤モデルにおける指示は、
1:30:19	もう表層地盤ですか、これはアズイズとおっしゃいましたけど、直接PS検層からVs、Vpのばらつきまで評価できてるんだけれども、この 15 ページの設計を地盤モデルにおける表層地盤というのはおそらく
1:30:35	エリア全体で設定をしているので、直接VSVPをPS検層から求めているんだなって、初期せん断剛性G0と μ の計算から出ているという、そういう算定のプロセスが違う中で、
1:30:52	保守性をより見るために、この 15 ページの中では頑張ってる今のばらつきを振ったという趣旨かなというふうに理解しましたがそういう勘案趣旨であってまずでしょうか。
1:31:05	日本イトウしてございます。基本的な考え方はキシノさんが今おっしゃっていただいた通りでございますのでそういったところの背景がわかるような形のほうで資料のほうは、展開させていただきたいというふうに思います。
1:31:16	規制庁注水わかりました。その算定の考え方の違いなどの背景を含めてですね、プロジェクトなる考え方をしているのかで統一的にベースにある考え方おそらく整合がとれているということかと思っておりますので、それがわかるような説明をですね、次回 08 メトキ。
1:31:35	でもしていただければと思います。よろしく申し上げます。
1:31:39	日本でどうしてでございます了解いたしました。
1:31:42	すいません。規制庁カミデですけど、
1:31:46	ばらつきの具体の中身が直下かどうかで変わってくるということで、どう
1:31:55	明確にはまだこういうことなんですけど一部の建屋では直下を整理したような形で考えると、
1:32:06	ということだと耐震建物の 11 の中身をもう

1:32:12	それに応じて基本的な考え方を使い分けをしますと、なぜならば、こういうことですけれどもが反映される必要があるように思いますけどそういったことも念頭に
1:32:27	考えて、
1:32:29	いただいていますよね、ちょっと確認なんですけど。
1:32:33	会議においてどうしてございますが、今患者さんからお話のあったけどにつきましてデータの直下取り扱いといったところに関しましては当社の中で検討しているところでございます。ただしおっしゃった通りでございますその部分で当然補足の中ですすね変更すべき事項といったところが、
1:32:50	見直し以下に関しましては生じてくるといったところ認識してございますのでそちらのほうの方針が決まり次第ですすねこの報告の中身につきましても適切に修正のほう加えていきたいというふうに思っております。
1:33:03	はい、規制庁カミデです。一応確認できてよかったんですかと
1:33:08	各種の影響評価ものも直下をやるということになると、例えば燃料加工建屋で総数としてお変わりは燃料加工建屋の補足で示しているような評価ものも必要に応じて直下で、
1:33:26	やり直すということが必要になるかと思っておりますけどその点も理解されて検討いただいていますかね。
1:33:34	はい日本へ統合してございます久米さんのおっしゃってる部分でもし仮に直下煉瓦主たる検討になるといった部分に関しましては、あなた場合に関しましてはその影響するものに対しましては直下でやり直した結果といったところで、
1:33:51	見直しのほうかけていくといったところは認識してございます。ただ基本的な考え方といったところをですすねこれまで御説明している補足の中身から一緒することないというふうに思っておりますので、計算結果なしといったところをですすね、随時反映させたものをですすね再度提出させていただくというようなところで考えているところでございます。
1:34:10	はい。規制庁カミデ立案大体私もそういう認識で基本的な考え方で今まで聞いたところが変わるものがあるんじゃないと思っても基本内と思ってたんですけど今話を聞くとばらつきに関しては、直交使うとちょっとまた、今回が変わるんだっていうのは、
1:34:28	そういうものがあれば、方針的な部分も手当をいただくということだと思いますのでよろしくお願いします。
1:34:43	なんかウラバヤシでございます。今ほど御説明差し上げたところ、例えばばらつきの資料でしたら、2ページ目のところ、ちょっとモデルでの結果に今後差し替える予定ですという店舗ある旨を再現してございます。

1:35:04	はい。規制庁カミデとそれは理解した上でこの資料だけでなく全般をどう考えているのかどう準備をされ、どういう認識で
1:35:15	いろいろ検討なされているかと陸路波及影響はし量に対してどれぐらい影響があるものとして、
1:35:24	考えておられるかという確認をただけなので、あのISOの記載は理解した上で話をしております。
1:35:39	規制庁のタケダですね、そういった点だけ、事実確認なんですけれども、
1:35:45	1 ページ目の一番下のなお書きのところで、
1:35:57	こちら、
1:35:59	明日までに載せ 2 段落目ですね。よってから始まっているところなんですけれども、
1:36:08	結論としまして、
1:36:13	ばらつきの考慮につきましては地盤物性のばらつきだけを考慮しますと、時コンクリート実強度や補助平気といった建屋物性のばらつきについては、また耐震評価に影響しないから考慮しないということなんですけれども。
1:36:32	機器の評価についての影響はあるのではないかというふうに思っているんですけれども、
1:36:41	うん。
1:36:42	関連する耐震起電 11、
1:36:46	内容物のバラつきに伴う影響評価について、
1:36:49	この中で行っている影響評価っていうのは、地盤物性に加えて、建屋号建屋物性のばらつき、
1:36:58	を考慮した影響検討を実施しているのでしょうか。
1:37:10	日本へ等詳細を申し上げますねちょっと今、昨日ちょっと担当の者がおりませんので鉄塔の機器のちょっと
1:37:19	確認いたしましてご回答させていただきたいというふうに思います。
1:37:27	規制庁タケダです。わかりました。
1:37:30	その辺がですね、の代表とかあまり明確になっていないので、建家の物性のばらつきを考慮した影響検討っていうのも、先行炉ではやっているはずですので、それをやるということを明記していただきたいという趣旨になります。
1:37:53	私から以上です。どうぞご理解いただけますでしょうか。
1:37:58	はい、日本でトガシございます。
1:38:01	タケダさんの今の御趣旨のところっていうのは麒麟側のほうの図書のところ耐食性を用いた延ばす検討といった資料があるというふうに認識してございますので、そちらのほうで、こちらのほうの結果を受け取って、

1:38:16	こういうばらつきに対してとしてますっていったところを明記させていただくという理解をさせていただきましたけども、そういう理解でよろしかったですか。
1:38:27	規制庁カミデです機電側のばらつきの話先週ヒアリングをしていて、
1:38:33	資料上明確ではなかったんですけど一応建屋剛性のばらつきみたいなものも含めて評価してますというような話だったのでまず機電側でちゃんと記載の充実をお願いしますということのは話をしたところです。一方で
1:38:52	建屋側もですね、
1:38:54	記載として建物構築物に影響ないで終わっちゃってるんですけど、機器については来側に渡してますと、
1:39:04	ということで機器側の補足説明資料を読ま砂ですね、
1:39:09	リンクをきちんと張っていただいたほうが、我々も読みやすいですしということで建物側にも少し手を入れていただきたいということですけど。
1:39:21	日本でどうしてございます。今御趣旨理解いたしましたので機器をボタンタッチできるような形の記載のほうをさせていただきたいというふうに思います。
1:39:33	規制庁の武田です。すいませんあの補足ありがとうございます。その通りですので、お願いいたします。
1:39:39	時はこの支援つきましてその他確認項目ございますでしょうか。長期間使って
1:39:47	いうふうに到達することで、燃料加工建屋の危険の影響評価っていうのも、今回申請の中で別途説明するという。
1:39:58	今見通してございますちょっと言い方が適切でなかったんですけども、基本的には燃料加工建屋の場合は第2回申請の方になって参りますので、高校の今回の影響評価を受けたものの結果については来側についても
1:40:15	国のほうを実施していくとの対比のその文章のほうで全体的にいた議題の申請に伝わるような形で4につきましては今回申請の中で展開するような形のほうを対応として諮らせていただきたいというふうに思っております。
1:40:29	続きまして、今の御説明を再確認ですけど、燃料加工建屋については、乗っけ県の提供については次回申請書の中で、
1:40:39	とぴあ物性のばらつきによる応答への影響評価して、
1:40:44	必要であればその基本設計に反映するという方針を今回新設いたしますと、そういう理解でよろしいですか。
1:40:53	要員の移動してございます影響を
1:40:56	おっしゃる通りでございますねその方針について取り組みますといったところを記載させていただくといったところでございます。
1:41:04	規制庁の木ですはいわかりました。

1:41:18	規制庁、川ですよ。その他、当該資料確認事項ございますでしょうか。
1:41:27	よろしいでしょうか。それから当該資料につきまして、日本原燃の方から修正の方針につきまして説明をお願いいたします。
1:41:40	日本原燃キョウダでございます。修正内容としましては、鉄骨造の屋根トラス部分につきましては対象外とするといったような内容を図などを入れてまてめに説明するといったようなところと、あと直下地盤の経営判断については適切に行うといったようなところ。
1:41:57	あと決起へのリンクについて、適切に記載をするといったようなところで考えております。以上でございます。
1:42:09	規制庁の武田です。はい、ありがとうございます。
1:42:12	時の資料の事実確認済たいと思います。
1:42:18	次の資料が、
1:42:21	耐震記念の 12 でしょうか。1 関東評価用地震動に対する影響評価について、
1:42:31	この資料につきまして日本原燃から補足で説明内容がございましたらお願いいたします。
1:42:39	2 億円投資してございます。こちらのほうの耐震建物の 12 につきましても前回いただきましたコメント事項に対しまして、特に評価のやり方の部分に関して、少しわかりにくいところがございましたので、そういった部分に関しまして、
1:42:55	記載のほうの充実化のほうを図ってきたといったところが趣旨になってございますので、よろしくをお願いいたします。日本原燃からは以上でございます。
1:43:07	規制庁の武田です。ありがとうございます。
1:43:10	それではこの資料につきまして規制庁側から確認事項ございましたらお願いいたします。
1:43:18	規制庁カミデです。
1:43:21	まず、体裁的なところなんですけど、
1:43:27	6 ページに一関東二のスペクトルがあるんですけど。あと他のSsの鉛直のスペクトルも一緒にプロットしてですねその程度感がちょっとわかるように示していただきたいんですけど、対応できますか。
1:43:47	はい。日本原燃スガワラです。はい。他のSsも重ねがDをしたもので修正させていただきます。
1:43:59	規制庁込みですよろしく。
1:44:06	あとは 34 ページで
1:44:12	解析結果の比較という形でデータは出てるんですけど、
1:44:18	ちょっとこれに対してどういう評価なのかっていうのを書き加えるようにしてください。14 ページのまとめのところには

1:44:28	案全体として書いてはいるんですけど、
1:44:33	基本的に結構示しているところについて、どういう。
1:44:38	所管というか評価をしたのかということもきちんと書くようにしてください。これは34ページも51ページもそうなんですけど、対応お願いします。
1:44:56	背景起こりました日本原電スガワラです。そうですね、水平方向をにつきましては参考ということで示しておりましたけれども、基本的に衛生方向につきましては信用が特に大きいという傾向ではないとかっていうですね。
1:45:14	考察を追記させていただきたいと思います。
1:45:18	はい。
1:45:21	はい。よろしくお願いします。
1:45:27	ちょっとこれについては
1:45:31	最初の
1:45:34	水平2方向の話もそうですけどあの申請書との対応とか、そういうところは共通も踏まえて確認をするっていうことなんですけど。
1:45:43	基本的に統一の関東の結果も申請者をに何らかのってくるということでよろしいんですかね。
1:45:56	YKT、日本原燃スガワラです。はい何らかのせることで、今整理しております、4ページの中段のところですね、その辺りの申請書上の記載の、これもですね少し充実させていただきました。
1:46:18	はい。
1:46:26	規制庁効率が変わりました。
1:46:31	最終的に資料の整理のところで、概要に申請書等の対応オオオカように書くのかまとめに書くのかというのは、全体整理のときにちょっと
1:46:43	ある程度統一した形で整理できればと思いますけどとりあえず今の状態としてはコメントはないです。私からは以上です。
1:46:59	規制庁の武田です。東海市につきましてその他、規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
1:47:10	よろしいでしょうか。それでは日本原燃のほうから、当該資料につきまして修正の方針と説明をお願いいたします。
1:47:20	／回件名スガワラです。こちらの資料につきましては、冒頭ところですね、一応関東のスペクトル図のところ増えAsコカウエストもレベル感というところはわかるように重ね書きローカルを修正させていただくと。
1:47:38	後ろのほうにつけております結果系のところのですね、そういう方向のところにつきましても考察を記載を注意するということで対応させていただきたいと思います。

1:47:51	以上です。
1:47:55	規制庁の武田です。ありがとうございます。
1:47:59	それでは本資料につきましては以上とさせていただきます、最後の資料ですね、いいですか国に進みたいと思います。
1:48:09	最後が耐震建物 21 年、こちらの資料につきまして日本原燃の方から補足で説明する内容ございましたらお願いいたします。
1:48:22	はい。日本原燃統合してございます。建物耐震の 21 で振ってございますけども、こちらのほうの資料といたしましては先ほどしろというような形でございまして前回いただいたコメントに関しまして修正報告を得たといったところになってございます。
1:48:37	当該資料に関しましては、特段報告事項がございません。以上でございます。
1:48:44	規制庁の武田です。ありがとうございます。それでは当該資料につきまして、規制庁側から確認事項がありましたらお願いいたします。
1:48:56	町ハバサキです。ちょっと何点か確認をしたいと思えますし、資料 39 ページちょっと主要部補正わかりにくいんですけども、一応変更点ということでは 28 ページから 6 のところが建家系は、まとめられているということで、
1:49:15	その中で先ほどの 39 ページのところから、地震応答解析における既認可からの変更点という形でまとめられてますんで、精通の内容見ますとタケダ権については麻痺してきました。こういう
1:49:35	歩道の比較とかですね、もう入れてもらってるんですけども、地盤について、地盤モデルについての緊急の比較っていう記載がないかなと思うんですが、その点は人考えられてますでしょうか。
1:50:01	病原性のトガシがある場合です。こちらのほうなんですけども付録等ですね例えば 40 ページ目のほうで金庫からの変更点で側面地盤までもですね考慮しますとかっていうところですね、記載はさしていただいているところがございますけども前段のところであんな、
1:50:21	ウェブ部と記載がないので、埋め込みましたのですねそういったところがわかる形のほうでISのような形で対応したいというふうに思います。
1:50:34	規制庁ハバサキです。ちょっとこの新旧の変更点といいますか比較っていうのは結構重要な資料というふうにこちら認識してましてですね、先ほどのその地盤モデル、従来の設計地盤モデルと言われたままに今回は、
1:50:51	これもとか地盤の条件なのか、最終的にはっていうのとあと表層も今回チップっていうんで、そういったところをですねもう少しもう少し内容を充実させて充実してもらいたいというのが一つあります。
1:51:09	それと同じく、その後、応答解析の話なんですけれども、今回

1:51:16	科医だかを急ぐはめて1階のレベルが確かGLから1. はじめたぐらいが余ってると思いますんで、その点についての考えとかと、あと、仕事に対する影響について
1:51:33	それも事業者としての見解が必要かなと思ってます。例えば地盤ばねについては説明がありました、該当する秋さあのみを考慮するとかですね、ありますので、そういったところで考慮しているとか、あと実際番目は、斜め方向につけてるんですけども、
1:51:51	全音では鉛直方向のこととしているから問題ないとかですね、要はその
1:51:57	旧のモデルですと、確かGLから60センチぐらいしかなかったものは今度駅とかいって初めて上がってるということに対しての当事業者としての評価といえますか、考えについて、この応答解析のところでは1名が必要という
1:52:14	考えますけれども、その準備っていうのは可能でしょうか。
1:52:25	日本原燃相場ですはい鏡肌指摘いただいたようなところですね、記載を充実するようにいたします。
1:52:34	規制庁ハバサキにやはり新規変わったところで影響系統貸し出してというのは、一般の人にもわかる形でも考察といいますか、資料として残すということはお願いたしたいと思います。
1:52:48	それから、54ページからが応力解析における変更点ということになって、これ違反して大きな変更はないかなというふうに私は思っています。
1:53:03	このもととなる荷重条件といいますか設計条件ですね。
1:53:10	例えば、民主党既工認では基礎を基準面として静的地震力を評価してますよね。今回はJR面ですよ。
1:53:22	要は静的地震力の基準面が違っている、それからそう当然静的地震力の設計加重だ考え方地震力の考え方も違って、
1:53:31	それから地震時動圧としての考え方も変わっている。
1:53:36	とかですね、
1:53:38	設計条件として新旧の違い。
1:53:43	それについての説明が今のこの資料にはないというふうに思うんですが、それについて、
1:53:51	必要ないとする理由といいますと必要だと思うんですけども、その対応というのは可能でしょうか。
1:54:02	はい。
1:54:03	やはり年齢スガワラです。はい。今ほどのご指摘いただいたような設計条件の違いっていうところは少し記載ははございませんので静的地震力ですとか、あの地震でもその条件のですね。違いについてもつつ、

1:54:21	記載を追加させていただきます。
1:54:25	規制庁阿部です。こちらばかり歴史的に示した事項も以外にですね、建設当時のこういう資料ではこういう形での評価をしてました、例えばばらつきとして認可上考慮するとか、そういうことをやられているわけで、それを今回やるとかやらないじゃなくて、イトウ、
1:54:44	今回はこういう観点のばらつきを評価してます。
1:54:48	今度はこうやってましたっていう、そういう、やはり
1:54:54	当時と国会で何が一緒に何が違うのかっていうところは、
1:54:59	ちょっと言葉は悪いんですが、鉄ミカミ冊そこはやはり説明の方をしていないというふうに思ってます絵と対応、そういった形での対応することによってよろしいでしょうか。
1:55:12	INRAスガワラです。内からの廃違ってるところっていうところをこの項目も含めて確認の上追記させていただきます。
1:55:23	そしてちゃうわけですつまびらかな説明のほうをお願いします。私から以上です。
1:55:31	規制庁カミデです。今のお話の関連理由で、例えば-55 ページに手法の比較っていうのがあってこれ自体は、表では昔と一緒にですと書いてあるんですけど、御説明を聞くと、
1:55:48	なんかちょっと違うところがあるんですっていうことなんですけど、どういう形で修正反映されるのかって少しイメージをお聞かせください。
1:56:02	あれ人間のスガワラです。修正文面Gはですねまず車両でも少しちょっと検討させていただきたいと思うんですけども、例えばこちらこちら9Gの表を活用しますと、
1:56:19	例えばですけどもパーツのところでも、今今回踏査ということになっているんですが、先ほどマージン荷重がそもそも変わっている関係で変わっているとかっていうところをもう少し、この中でも読み取れるように、
1:56:39	する必要があろうかなということで、ちょっと今の時点ではそう、そのような方向かなと考えております。
1:56:47	はい。規制庁当面すぐわかりました。
1:56:50	同左としていたやっぱもう中身をもう少しメッシュを細かく考え定数表に反映するというので聴方向性としてはそれでいいかと思しますので、よろしく申し上げます。以上です。
1:57:12	これをねどうしてございます。ちょっと1点確認なんですけども、基本的にハバサキさんの趣旨としては、あれ、要するに、地震荷重みたいなものっていうの

	は当然今回Ssが変わっているんで、その部分っていうのは当然変更して当然の部分。
1:57:28	ですけどもプラスとしてその考え方として、例えば静的地震力のところで埋め込みを考慮したので、基準面のところが変わっているところでそういったその考え方が少し変わってるようなところをより詳細にちょっと補足してくれというようなイメージで私どもとらえていましたけどもそういう認識でよろしかったでしょうか。
1:57:58	はい。
1:58:05	規制庁カミデです。今は私カミデに対する話ですかハバサキに対する話ですので、そのときちょっと確認させていただきたかった点でございます。
1:58:29	規制庁カミデですよ、ハバサキさん音声聞こえてるでしょうか。
1:58:37	微圧大変失礼しました。マイクoffになってました。規制庁ハバサキです。今ここの説明の趣旨は、地震応答計算書なり耐震計算書に関わる情報の変更点の話というふうに理解してます。
1:58:56	すなわち、耐震計算書では、地震力と組み合わせるかちゅうのがあるわけで、それが、
1:59:04	変更になっていれば、それについても説明をしてくださいということになります。
1:59:12	耐震計算書として考慮しているものについて変更があるものに関してはつまびらかな説明をお願いしたいという趣旨です。よろしいでしょうか。
1:59:22	流動してございます趣旨理解いたしまして基本的に今こうやっているものについては変わってるっていったところの趣旨の内容のところをどうされなくてまう私どもこの資料としましては考え方が変わってなければ動作とさせていただいておりましたけども、基本的に従量が変動だてればその前提として、
1:59:39	その旨を記載するといったように理解しましたのでそういった形のほうで対応させていただきます。
1:59:45	規制庁ハバサキです。入ったようにお願いします。
1:59:53	規制庁のキシノですと軽微な確認なんですけれども、資料の38ページで金庫と今回設工認の変更点がちょっとわからないんですが、それぞれが欠落しちゃっているかもしれないんですか。ちょっと変更箇所について教えていただけますでしょうか。
2:00:11	これマスキングなので、可能な範囲で結構です。
2:00:16	すいません。こちらの30人間で総はですね。
2:00:23	38ページにつきましてはちょっとマスキングのようなところではあるんですけども、ちょうどあれですね、その隠している配慮言い方を守ってもらうとのあれですね。

2:00:43	計上がちょうど重なっていて、その辺りはちょっとわかりづらくなっているということだと思うんですけども、変更箇所につきましてはこちらの中で示している部分が計上として、
2:01:01	変わっているといった間違いあります。
2:01:05	規制庁のキシノです。わかりましたというかわからないんですけど、多分これ図が抜けてるんですよ。
2:01:12	なので、ちゃんと適正化をしていただければわかるかと思いますので対応いたします。
2:01:20	すいません日本原電スガワラです。こちらも決してザッ欠けているわけではなくてですね、ここいった形でマスクングで細かく出ている中に
2:01:33	こういった平面 隠れておりますので、
2:01:39	規制庁キシノです。ちょっと非公開版確認いただければと思うんですが、マスクングの枠線の中には真っ白になってますので、再度ちょっと確認いただいて、適正化のほうをお願いします。
2:01:52	IAEAのウラバヤシです。承知しましたアメリカのこれマスクング版と線が重なってしまっておりますので、その辺の見えるような形で、
2:02:01	訂正させていただきます。
2:02:04	はい、お願いします。
2:02:07	うん。
2:02:09	普通です。
2:02:12	市況戻るんだったら最後にしましょう。
2:02:15	ていうことですね、12じゃなくていいってことですか。
2:02:21	ドック規制庁カミデです。
2:02:24	イトウ
2:02:25	ちょっとこの耐震建物 21 で直接どうこうってということでもないんですけど、
2:02:34	起電パワーで冷却塔の変更前後っていう形で、
2:02:41	資料化できてます。耐震記念 13 番の資料なんですけど、
2:02:49	比較している内容がそれぞれちょっと違っているような感じがしてまず体裁がかなり違うんですよ。で、この辺り、なんか合わせていくなりですね。
2:03:05	双方の説明内容を充実させていくってことで、今後ちょっとブラッシュアップをしていかないといけないなと思っているんですけど、今のところ何か機電側の資料とかも確認されて、
2:03:22	ならば共用してるようなところってますかね。
2:03:32	日本原燃のスガワラです。

2:03:35	冷却塔のほうの赤の資料も見ておまして、系統あちらの方がですねの機器の変更目線で全体を整理しているというものは入口のところですねちょっと立て付けが、
2:03:53	違うなということで認識をしております。こちらのトーモク側の建屋の方の変更点の資料につきましても先ほど今コメントいただいているところも反映は経営した上でですね、また
2:04:11	冷却塔が一んで、説明しているような内容で足りない部分をMOX側で記載が伝えていない部分もあればですね、そちらのほうも追記させていただこうかと考えております。
2:04:28	規制庁カミデです。ちょっとした確認なんですけど、MOXの工事階で機器が予定されてるじゃないですかそれはちょっと聞いた時にすべてが来認可済みかどうかは私はワークしないんですけど、
2:04:44	ある程度認可済みの機器があって、そういうの変更点がある場合、その時はあれですか、耐震建物 21 に、
2:04:53	喫緊の説明も変わっちゃうんとして冷却棟みたいな、建物構築物と機器一式の資料にされるおつもりなのかちょっとそのあたり、見通しと思っておりますと、
2:05:16	預ギリシャでございます。するとこはすみませんあんまり考えてなかったんですけども、今 5 分までに質問あった件、どちらかというと、説教並行なり計算の過程の変更であったり、いろんな変更というこの資料にかぶせて説明をしていくとなると。
2:05:36	やはりおっしゃる通り、いい例も含めて機器側も含めた上で今後どうしていくかってところ整理が必要だと思っております。もともと残ったままの建物を構造なり何なりを変更したっていうところを今回の設工認に合わせていった明確にしようということで、
2:05:54	この補足を作ったように頭にウノ会総合改革の変更とか、そういう部分を止めて、そこに関係する部分のこの資料の落とし込みですが、今までの御質問いただいた御指摘とらえたものがないって、2 階以降も含めてどうしていくかってのはやはり今共通関係等を受けてやっている補足説明
2:06:14	資料としてのパッケージの考え方の中で整理をさせていただければと思います。
2:06:23	規制庁トミスわかりました 00 シーズの中で話ができればと思いますので、
2:06:31	それはそれで考えていただく上で、機器、冷却棟側の説明内容と
2:06:39	名与党建屋の説明内容っていうのを
2:06:43	ある程度説明の仕方とか並びがとれるようにということでそう確認お願いします。以上です。

2:07:00	規制庁の武田です。その一定確認させていただきたいんですけど、23 ページ。
2:07:08	お願いいたします。
2:07:13	このマスクングなので、あまり答えていると時認可と今回等で
2:07:22	マーケ公正に寄与するための長さが違うと思うんですけど、この違いっていうのは、どういう理由になるのでしょうか。24 ページだと給気に切り換えだと見込んでいなかったりという違いがあるんですけど、あわせて御説明いただけるでしょうか。
2:07:42	メーカーに判定値スガワラです。こちらにつきましては、平面形状にもキリン課から今回設工認で変わったということで天体をですね見直す過程でAMAGIIに
2:07:59	合成に寄与する長さにつきましても、改めて見直したというところがございます。
2:08:11	規制庁の武田です。
2:08:15	特に準拠している指針、指針とか文献とかそういったものが変わったわけではないでしょうか。
2:08:23	はい。
2:08:23	日本連盟スガワラです。特にそうですね今期特定のこの指針が変わったのでとかっていう、そちらに／事では行いません。
2:08:35	予算ではレイアウトの変更とかと思うなった。それによる時的な変化変更だということで理解しました。
2:08:46	そういうのも出てハバサキのほうから指摘があったと思うんですけども、設計条件の変更とか実施関わってくるところかもしれません。そちらもあわせて整理をいただければと思います。
2:09:03	日本原燃スガワラです。承知しました。
2:09:09	私のほうからは以上になります。
2:09:12	その他規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
2:09:21	よろしいでしょうか。
2:09:23	それでは当該資料につきまして日本原燃の方から対応方針等をお願いいたします。
2:09:33	はい。日本原燃のスガワラです。
2:09:36	こちらの資料につきましては、前回からの変更点につきまして、系統設計条件として変わっているものにつきまして一通り今度こうですね、規定を遵守するといったところが、
2:09:55	メインかと思います。それからあと冷却タナカの来に係る変更点の経営しようというのほうも確認の上、説明の項目。

2:10:08	経営層のピークとか、いいところを対応するということで対応したいと思います。
2:10:15	以上です。
2:10:20	規制庁の武田です。はい、ありがとうございました。
2:10:24	では本日の補足説明資料の確認としましては以上となります。
2:10:37	規制庁キシノですね、すみません、ちょっと途中で離席しましてきました点が2点あるんですが、耐震建物の11イトウ10について幾つか確認したいんですけど、まだ担当の方はいらっしゃいますでしょうか。
2:10:57	右上に移動してございます。お願いいたします。はい、もし新しい建物の11なんですけれども、320ページの方。
2:11:06	昨日いただきます。
2:11:11	こちらのほうでも事故についての自治体がですけれども、基本的には、例えばアクセス性のばらつきについては、サトウ介在を参考にしてみらいというのがこの資料の全体の趣旨
2:11:27	デイ・シイってことだと思いますから、建屋物性のばらつきとして補助工法d項について求められているわけですけども、補助壁の影響評価する際にある10日間いいでは、
2:11:41	それから、接続して立ち上がってるわけじゃないので軸方向荷重を負担しないですね、電力=Ⅲ級な検討しているかと思いますが、
2:11:51	今回の検討ではこの補助壁の扱いにされているか教えていただけますか。
2:12:01	そう。
2:12:04	その中には、私が聞いておきましたんで、繁栄するって言ってますようにば沼津省力化何でもそれだけ
2:12:13	挙手をしてください。
2:12:23	はい。
2:12:28	はい。
2:12:32	日本原燃の投資してございます。キシノさんの今の御質問のところでも今保障関連機器の評価としましては327ページ目以降のところでのせん断面積としまして考慮する補助引きに対して変だ面積のSとしてこの部分をカウントしますといったところと、
2:12:51	あと受断面積のボールといったところで、水平に対しての部分の制度の面積の機能の部分とあと軸断面積の鉛直の部分、先ほどっていったところで記載させていただいているというようなところで補助金についてはカウントしているところでございますけども、

2:13:08	国会等で合ってますでしょうか。規制庁キシノです。はい、わかりました。つまり返答補助かデーを軸方向荷重も負担するものとしてとカウントしているという、そういう御説明と理解しました。
2:13:22	あればですね、部長の答弁導入参考としていると思うんですけどトークイベントちよつとこちらの考え方をされてるのかなというふうに思うんですが、そのように違う考え方にされている理由がありましたら教えていただけますでしょうか。
2:13:41	IRR日本ヘトガシでございます中撮ちよつと補助併記を考慮した方がですねやはり時価剛性どこが高まってくるといったところで固めの評価になった際にですね当然オーダーが影響するのかといったところが、こちらの方のばらつきの影響の因子としてあるのかなと今より。
2:13:58	まとめの剛性を与えたときにどういった影響なのかなっていうところがこちらのほうの検討の手段だというふうに思っていましたので、当社としましてはせん断面的にも思いますし、軸剛性の鉛直動に対しての企業っていうところでも、ここの部分の評価を見たほうがばらつき幅として大きいかという一連のところで見込んだというところ
2:14:18	今後、こちらのほう見事趣旨なと思います。
2:14:23	規制庁のキシノです。了解いたしました。おそらくそういう配慮からそのようにしているのかなというふうに想像はしていたんですが、その通りだということで理解できました。その辺りの考え方はですね、おそらく保守性の配慮というような観点に基づいているかと思しますので、
2:14:41	本当きちつとこの資料の中です、考え方も含めてちよつと説明を加えておいていただければと。
2:14:46	思います。よろしく申し上げます。
2:14:49	いや見通しでございます。資料のほうに反映いたします。
2:14:52	はい。すいません2点あるといひまして、一旦すでに聞いてもらってるみたいですので、私からは以上であります。
2:15:03	規制庁、武田です。その他補足説明資料について、何かございますでしょうか。
2:15:14	よろしいでしょうか。
2:15:17	っていうのはですね。
2:15:19	スケジュールの話とか少しできればと思っているんですけども、
2:15:24	次回の審査会以降は4月の26日に開催される予定になっているんですけども、お金に向けての概要
2:15:36	対応スケジュールですとか、そういったものについて少しお話しいただけるでしょうか。

2:15:44	はい、日本原燃の投資でございます。こちらのほうの審査会合案件といたしましては地盤の当町児嶋の取り扱いの部分と、あとは／地下水排水。
2:15:57	設備関係のところでございますと
2:16:01	杭基礎関係の取り扱いのところといったところが、基本的に技術的事項の中身というふうにしてございます。前回のヒアリングの際にも少し御説明したところでございますけどもちょっとこちらのほうをいろいろと調整なり試験等で今、
2:16:17	よい実施しているところではございますけども、ちょっとこちらのほうの補足関係のところですね、今週の大変申し訳ないんですけども、ちょっと金曜日の日にですね補足資料関係のお出ししたいといったところで今現在、当社のほうの検討のほうを進めているところでございます。
2:16:33	9日の日にですね補足説明資料のほう提出して時間がちょっと短い期間で大変申し訳ないところでございますけども、こちらのほうの補足関係のヒアリングのほうですね14日の日に出していただければというふうに思っております。
2:16:47	当然14日の日になりますと来週以降の
2:16:53	のところですね、
2:16:57	審査会合のですね骨子的なところもですね14日の日にはですねちょっと第1ドラフト案でございますけども見てしないといけないなというふうに思っております、こちらのほうの審査会合のですね資料といたしましてはその前日にはなるかと思うんですけども。
2:17:14	13日の日にですねそちらのほうのドラフトの1次案となりますけども、介護仕様のものをですね合わせた形のほうで14日の日にヒアリングのほうをさせていただきたいというふうに思っております。
2:17:28	その次の週になりますと2223のほうが休日等であるといったところもございまして、できましたら19日なりCのところですね一同、18日のヒアリングのほうを受けまして介護案件のパワーポイントの資料のほうを19日のときにですね。
2:17:48	ここに至るような形のほうで、14日の改訂版のものを16日の日にですねお出しして、19日の日にですね、可能であれば、地中9日から20日の日ですね、ここに実施させていただいて最終的に21日の日ですね資料のほうを整理させていただくというような
2:18:05	ちょっとスケジュール関係の方で今当社の方としましても考えてございました。
2:18:10	今仮定が当社のスケジュール関係の方申し伝えました。／申し上げさせていただきましたので、今規制庁さんのほうでですねお考えの少し工程がある教え

	ていただければ、そちらのほうをちょっと今一応書いてですね、調整の方さしていただきたいというふうに思っています。
2:18:32	別に別にしてしょうがないんですけど。
2:18:39	規制庁上出です。工程を早く早くといって、
2:18:47	解決するんであれば、そうそうしたりところではありますけど、まずはちゃんとしたものを作ってもらおうということで一応今のスケジュールで起こりましょ。
2:19:05	注意点的なところを言うと、前回の審査会合用資料ですか。最初にかなり相当な部数を積まれているいらぬみたいな花しいて数回
2:19:23	やりとりがあったと思いますので、そういった無駄はないように、きちんと説明をしたいところがを絞るとでまた説明内容の行使というか
2:19:39	どういことなんだということを最初に各説明の最初にわかるようにしていただいて、そのあと数枚程度の中身のある説明があるということ
2:19:52	まず
2:19:54	13日提出版ですかについては
2:19:57	作っていただければと思いますのでよろしくお願いします。
2:20:03	はい。日本でどうしてでございます。前回あのご指摘いただいたところにつきましては十分認識してございますので、そういった形のほうで対応させていただきたいというふうに思っております。ただちょっと多数要るところで医療機関の疾病申し訳ないんですけど週3日の日の予想ですねちょっと解析が一部ちょっと間に合っていないもの。
2:20:23	ところもございましてそういった部分に対しましてはちょっとクーラーのような形のほうです。あたりの方はないようなものでちょっとお出しせざるを得ないところもございまして、測野のほうは申し訳ございませんけどもご了承いただきたいお願いいたします。以上でございます。
2:20:41	規制庁カミデです。そちらの次回の達成目標としては単純の状況を紹介なのか、ある程度話を終えるつもりなのかというところによると思うんですけど
2:20:58	どちらを今イメージされてますか。
2:21:02	20年度当初予算としましては技術的な審査事項につきましては次回の審査会合のほうで終了させるべくですね対応のはかっらしいいただきたいというふうに思っています。ちょっとその部分に大変ちょっとあの数値のほうを追いついてないところが出ていったところ大変申し訳ないところがございますけども
2:21:21	放射線目標としましてはあくまでも記述事項につきましては、終了させたいというモリノで介護の方にも対応させていただきたいというふうに思っています。
2:21:33	はい。規制庁込みスイッチを目標としてはわかりました

2:21:39	細かい結果をどこまで介護仕様に書かなきゃいけないかっていうところも全部書けばいいか、説明いい説明かっていうと、そういうものでもないの、その辺も踏まえてですね、いったいいただければと思いますけど、
2:21:55	一部重要 13 日の時点で一部出てないというものを使ってもそれは、
2:22:02	仕方がないのかなと思います。一方で、前回は補足説明資料というのも会合で脇に積んでいるという形ですけどそれは、今回も同じ形ですかね。
2:22:18	日本原燃トガシございます今回につきましてはマップに関しまして地盤モデルに関しましては、どちらかという、前回の審査会合踏まえると、シンプルな当社としてどのような対応を支援するのかっていったところが基本的に介護で説明すべき事項っていうふうに考えておりますしあと地下水排水につきましても設計の方針なり、
2:22:38	このやり方っていったところをどういうふうに進めていくのかというところを説明する主盤なというふうに思っておりますので、それは私どもとしましては基本的にはあの会合資料のみで対応させていただきたいというふうに考えてございます。
2:22:52	はい。規制庁カミデですわかりました。その辺、14 日の際にもですね、名何を説明したいかということを確認にした上で、そういうことであればこの資料で話がクローズできるということが、
2:23:09	認識共有できるような説明していただけるように
2:23:15	心がけていただければと思いますんで、よろしくお願いします。
2:23:20	4 連動してございます。よろしくお願いいたします。
2:23:28	規制庁の武田です。
2:23:31	イトウ等ですね、
2:23:36	別紙 4 関連で基本設計基本方針シリーズについて対応をお願いしているところではあるんですけども、
2:23:45	これの進捗食うですとか、提出の見込みなどあればお話いただきたいんですけども、
2:23:53	よろしいでしょうか。
2:23:56	日本原燃の布田です。別紙をシリーズですけども社内の本当のドラフト関係出来上がってはきてますんで電力さんのレビューなんかもちよっと踏まえて提出したいと今思ってますして詳細スケジュールをもう少し調整させていただきたいなと思ってるんですが、
2:24:14	よろしいですか。

2:24:19	規制庁カミデです今週月曜日のヒアリングデータしか明日ですかね。ブラッシュアップしたスケジュールが合ってるってということで、その状況から、特に変わりないということですかね。
2:24:34	ムラノ日本原燃のページです。今ちょっとシェアの共通女性の尻ですが策定ま すこないだのコメントを踏まえて、社内転換用施設直下の全体のスケジュール 感今出そうとしてるんですけども、
2:24:49	まず火災関係の資料の説明になるかというところも見据えたいというのがご ざいまして、各条文の全部のスケジュールを綺麗に出せるというところまでは 場所の時点ではいかなかなと思っておりました。一方耐震関係の別紙 4 に ついてはですね、13 個とか 4 個の資料の思うんですが、
2:25:09	松屋については、今ちょっと集約かけてどの部分がスケジュール考えかちよつ と調整させて別途の連絡させていただければなというふうには思っておまし た。
2:25:20	規制庁上出です。まず 1 点目、月曜日の時点でも木曜日明日にブラッシュアッ プしたスケジュールが出てくるという話だったんですけど、まずその予定が変 わったということですか。
2:25:38	はい。
2:25:39	日本原燃の藤井です。端数ですね提出について見えている資料のスケジュー ルを処理したいというふうに考えておりますでしょうか水月曜日の時点では他 の他の条文も含めて出てくるんだらうと私は受けとめたんですけど、そういうつ もりで話をしてなかったということですか。
2:25:57	スミノフは以上です。いや、そこまで調整したいと思い、月曜日の時点でお話し していたんですが、実際社内への説明資料の調整であったり、社内の方への 展開ですね、そういったことをちょっと見た感じピーク等の簡単にはその展開つ ていうのは、
2:26:15	できないっていうのはわかってきましてもう少しスケジューリングするのに時間 をいただきたいというところですよ。
2:26:23	規制庁カミデです。まずは 5 個ありましたので、全体持てて構図で耐震も反映 されずと。
2:26:34	いうことを当たったので、それは、
2:26:39	調整できないものを調整しろと言ってもしょうがないので連絡を持つことにした いと思いますんで、一方ですね、耐震は、
2:26:52	基本設計もそういうことながらその別紙シリーズ別紙の 4 シリーズというのを かなり多くて、

2:27:00	背景には経産省もあってですね本会の第1回設工認申請において、相当な部分耐震実施見られているんですよ。で、そのこれまでいろいろ補足説明で議論をしますけど。
2:27:17	最終的に申請書に示すべき項目は何なのかということを中心にちゃんと整理をしないといけないんですけど、
2:27:27	その点、話を前広にしていかないと早くそちらとしては早く
2:27:37	進め申請を進めていきたいところだと思いますので、
2:27:44	大変になると思いますよという懸念はお伝えしますし、
2:27:51	何であんまり展開のどういう部分で留まっているのかわからないんですけど、この部分だけ確認したいとかっていうことでも、
2:28:03	区分けが出来てる相談は受けられるので。そういったことも考えて全体ですね、スケジュールをきちんと考えて提示いただければと思いますので、検討をお願いします。
2:28:19	日本原燃西原でございます。ご指摘の点、今後ともだと思えます。まず
2:28:26	我々がどういう順番で物事を進めていくのかということを見る化、あと対象商品としてどれが全部つもりで、それがどういう資料が部局の方に全体像と、あと補足の中間がありますので、そういったものの全体像をちゃんと示すことあったが、
2:28:45	順番としては先ほどフジノがありましたが、まず共通ゼロで前回私が御説明して御指摘いただいた部分修正プラスそれにかかる力も火災防護ゼロをしっかり仕上げていくということにステップを踏んだ上で他の条文に急展開しようということも考え、
2:29:05	出ましたので、そういうことの方としてちゃんと見える化させていただきます。その上で火災もヒアリングなんかやるつもりなのか、それがいつなのか、あとはムラノ火災を受けて展開するといった場合に、他の条文との訴え
2:29:21	スタートしてから例えば未払機関におけば、それが感染するかというようなことも含めて評価をさせていただきたいと思えます。そういうステップでしっかりと見える化した上で、あとは、先ほどフジノによりまして、全体としてスケジュールとしてどういうものかというの、
2:29:38	若干まだちょっと決め切れてないところがありますので、1までのスケジュールという若さ山積み分析に出した上で他からスタートを切ったヤマグチぐらいでしょうが完成するかということがわかるような形でスケジュールにしたいと思えます。以上です。

2:29:57	はい。規制庁カミデです。わかりました。何となくまずは共通そして火災を固めて展開をしたいという意向だということが何か触ってきましたので理解しました。
2:30:12	はい。また追って連絡いただければと思います。以上です。
2:30:31	うん。
2:30:33	来週、
2:30:36	うん。
2:30:36	そうですね。はい。
2:30:39	はい。
2:30:47	規制庁の武田です。その他の経常バー。
2:30:52	もしくは日本人の方から連絡事項等ございますでしょうか。
2:30:59	よろしいですか。
2:31:01	日本原燃の方もよろしいでしょうか。
2:31:07	はい、日本イノマタ以上です。
2:31:09	はい。
2:31:10	それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:31:16	ありがとうございました。